

令和5年度

自転車等の安全利用（保険加入ほか）に関する調査 報告書

自転車利用者向け

令和6年3月

東京都生活文化スポーツ局都民安全推進部
総合推進課

目次

調査概要	1
1. あなたはどのくらいの頻度で自転車を利用しますか。	4
2. あなたが普段利用している自転車をすべて教えてください。(複数回答)	5
3. あなたは主にどのような目的で自転車を利用していますか。(複数回答)	7
4. あなたは自転車の点検整備をしていますか。	9
5. 最近3年間で、あなたが自転車に乗っている時、歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった経験がありますか。また、あなたが歩道を歩いている時、自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった経験がありますか。	10
6. あなたは条例において、自転車利用中の事故により、他人にケガをさせた場合などの損害を賠償できる保険等(以下「自転車損害賠償保険等」という。)への加入が義務付けられていることを知っていますか。	12
7. あなたは自転車損害賠償保険等に加入していますか。	13
8. あなたが加入している自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類を教えてください。(複数回答)	14
9. あなたが自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけは何ですか。(複数回答)	16
10. あなたが自転車損害賠償保険等に加入していない理由を教えてください。(複数回答)	18
11. 自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。	20
12. あなたは、道路交通法や東京都自転車条例で自転車ヘルメットの着用が努力義務であることを知っていましたか。	21
13. あなたが自転車ヘルメットを着用していない理由を選び、そのうち最大の理由を教えてください。(複数回答)	23
14. 自転車乗用中のヘルメット着用を促進するためには何が必要だと思いますか。(複数回答)	27
15. あなたは自転車事故を減らすために何が必要だと思いますか。(複数回答)	29
16. あなたは自転車の安全利用(自転車損害賠償保険加入、ヘルメット着用、その他ルール全般)に関する情報を主にごどの媒体から得ていますか。(複数回答)	31
17. これまでに電動キックボード(特定原付)を利用したことがありますか。	33
18. 以下の「特定原付」の電動キックボード利用時のルールのうち、あなたが知っているものをすべてお選びください。(複数回答)	34
19. あなたが電動キックボード(特定原付)を利用するにあたってメリットだと思う主な理由を教えてください。利用していない場合は、利用したと仮定してお答えください。(複数回答)	36
20. これまでに、電動キックボードの利用について、危険を感じた経験があれば教えてください。(複数回答)	38
21. 電動キックボード(特定原付)を今後利用したいと思いますか。	40
22. 都内の自転車及び特定原付の安全で適正な利用について、ご意見がありましたらご自由に <input type="text"/> してください。	41

調査の目的

東京都では、東京都内における自転車の安全利用を一層推進するため、東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（以下「東京都自転車条例」という。）を改正し、令和2年4月1日から自転車利用者や自転車使用事業者、自転車貸付事業者などに対して自転車損害賠償保険等への加入を義務付けた。

そこで、改正東京都自転車条例施行以降の東京都内の自転車利用者及び事業者の自転車損害賠償保険等への加入率等を把握するため、加入状況調査を実施する。

調査対象	東京都在住の18歳以上の自転車利用者
調査実施期間	令和6年2月22日(木)～2月28日(水)
調査方法	インターネットモニターを対象としたWebアンケート調査
有効回答数	1,000件

— 調査結果の見方 —

- ① 基数となるべき実数（母数）は「n」として表記し、各回答率（%）は「n」を100%として算出している。
- ② 回答率（%）は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。グラフ中の「0.0」は回答率が0.1未満であることを表し、「—」の場合は回答が皆無であることを表している。
- ③ 2つ以上の選択肢を選ぶことのできる設問（複数回答）の場合、回答率（%）の合計が100%を超えることがある。
- ④ 回答者を限定する設問では、該当選択肢の回答者数を基数（=n）として算出している。

自転車利用者に対する調査

●居住地域

n=1,000

【23区】	n	%
千代田区	10	1.0%
中央区	11	1.1%
港区	14	1.4%
新宿区	21	2.1%
文京区	18	1.8%
台東区	25	2.5%
墨田区	26	2.6%
江東区	39	3.9%
品川区	37	3.7%
目黒区	21	2.1%
大田区	51	5.1%
世田谷区	57	5.7%
渋谷区	22	2.2%
中野区	26	2.6%
杉並区	36	3.6%
豊島区	18	1.8%
北区	24	2.4%
荒川区	18	1.8%
板橋区	30	3.0%
練馬区	53	5.3%
足立区	49	4.9%
葛飾区	32	3.2%
江戸川区	52	5.2%
23区計	690	69.0%

【市町村】	n	%
八王子市	28	2.8%
立川市	24	2.4%
武蔵野市	13	1.3%
三鷹市	12	1.2%
青梅市	4	0.4%
府中市	33	3.3%
昭島市	9	0.9%
調布市	16	1.6%
町田市	18	1.8%
小金井市	11	1.1%
小平市	16	1.6%
日野市	20	2.0%
東村山市	11	1.1%
国分寺市	10	1.0%
国立市	5	0.5%
福生市	6	0.6%
狛江市	9	0.9%
東大和市	3	0.3%
清瀬市	10	1.0%
東久留米市	10	1.0%
武蔵村山市	7	0.7%
多摩市	12	1.2%
稲城市	3	0.3%
羽村市	5	0.5%
あきる野市	1	0.1%
西東京市	11	1.1%
瑞穂町	2	0.2%
日の出町	1	0.1%
市町村計	310	31.0%

※「23区計」と「市町村計」の比率は、東京都の地域別人口を参考に割付を行っている。

自転車利用者に対する調査










●性別・年代

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	10	78	83	98	93	64	64	490
女性	10	82	87	102	97	66	66	510
合計	20	160	170	200	190	130	130	1,000

●職業

n=1,000	件数	%	
会社員・公務員・団体職員（役員等を含む）	462	46.2%	
パート・アルバイト・契約・嘱託・派遣等	192	19.2%	
自営業・自由業	69	6.9%	
専業主婦/主夫	116	11.6%	
学生	45	4.5%	
無職（年金生活者を含む）	111	11.1%	
その他	5	0.5%	

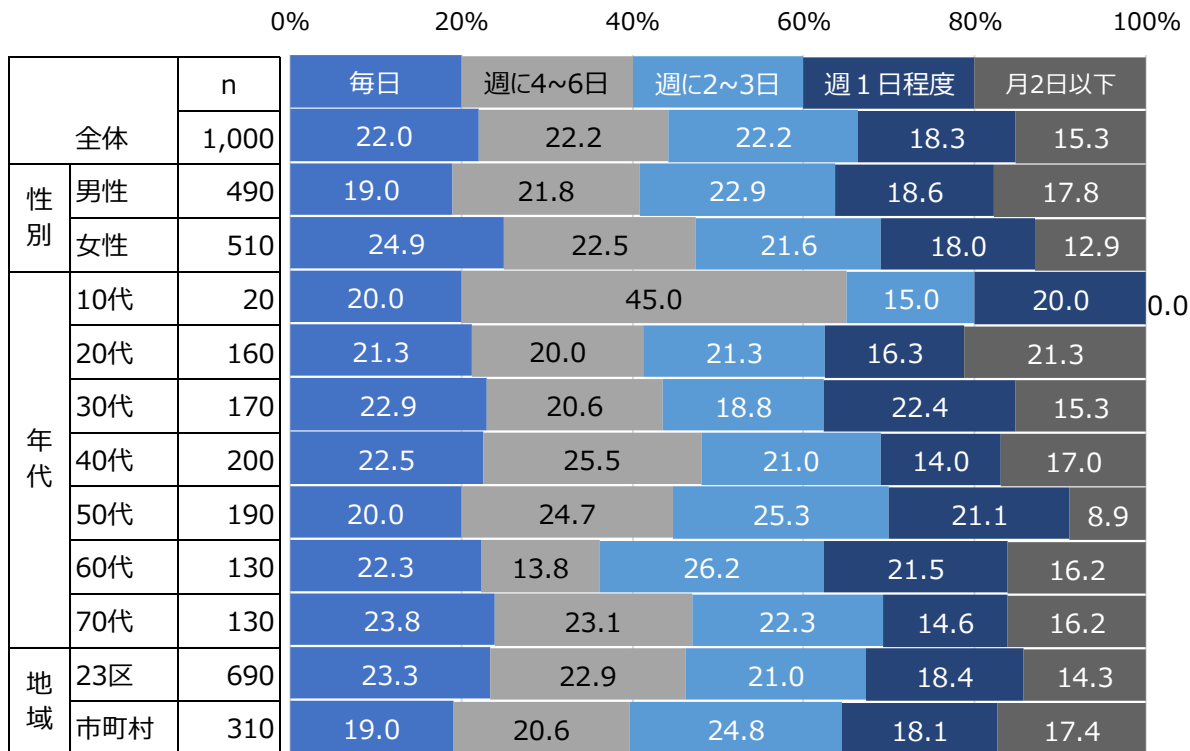
●自転車の保有台数

n=1,000	件数	%	
0台	86	8.6%	
1台	461	46.1%	
2台	244	24.4%	
3台	116	11.6%	
4台	65	6.5%	
5台	17	1.7%	
6台	7	0.7%	
7台	1	0.1%	
8台	3	0.3%	

自転車利用者に対する調査

1. あなたはどのくらいの頻度で自転車を利用しますか。

自転車利用の頻度については、「毎日」「週 4～6 日」を合わせた『ほぼ毎日自転車を利用している人』は 44.2%であった。『ほぼ毎日自転車を利用している人』は男性では 40.8%、女性では 47.4%と女性のほうが 6.6 ポイント高く、年代別にみると 10 代（65.0%）が最も高く、60 代（36.1%）が最も低くなっている。

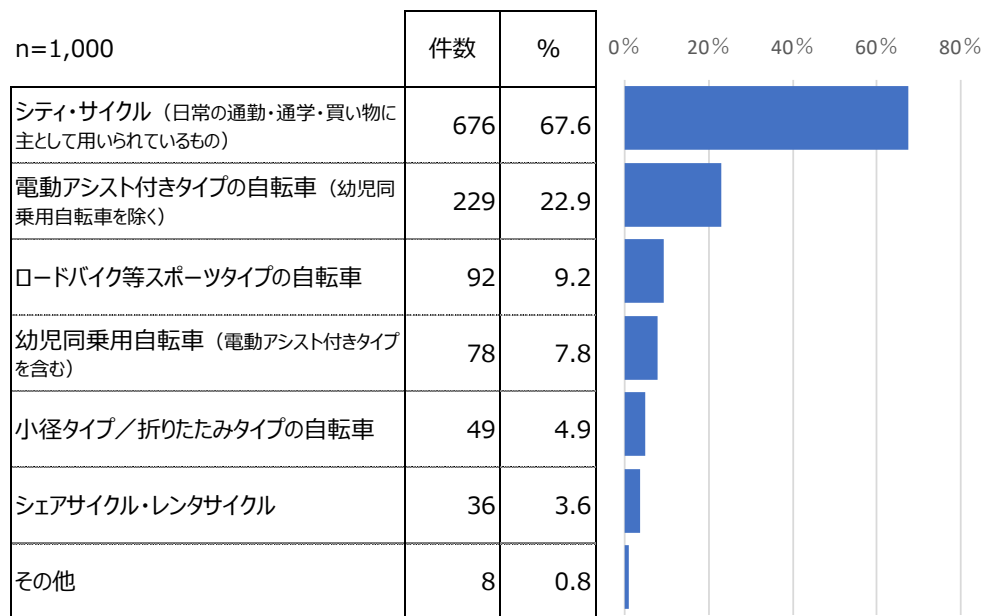


自転車利用者に対する調査

2. あなたが普段利用している自転車をすべて教えてください。(複数回答)

(1)全体

普段利用している自転車については、「シティ・サイクル」が 67.6%と最も高く、次いで「電動アシスト付きタイプの自転車」が 22.9%、「ロードバイク等スポーツタイプの自転車」が 9.2%と続く。



● 「その他」の内容（8件）

- ・ ママチャリ（1件）
- ・ 三輪（1件）
- ・ マウンテンバイク（1件）
- ・ 無回答（5件）

自転車利用者に対する調査

(2) 属性別

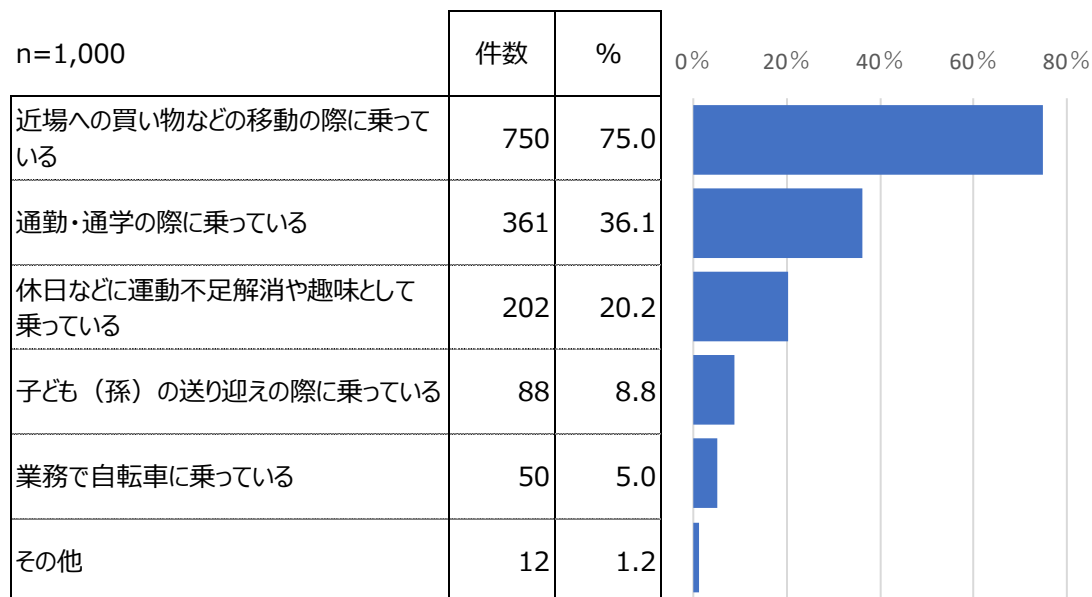
普段利用している自転車について性別・年代別にみると、「シティ・サイクル」では男性が69.0%、女性が66.3%と男女間の差は小さく、年代別では70代が76.9%で最も高い。「幼児同乗用自転車」では30代が17.6%、「電動アシスト付きタイプの自転車」では40代が28.5%で、それぞれ最も高い。「ロードバイク等スポーツタイプの自転車」では男性が14.5%と女性(4.1%)より10.4ポイント高くなっている。

	n	シティ・サイクル（日常通勤・通学・買い物に主に用いられているもの）	幼児同乗用自転車（電動アシスト付きタイプを含む）	電動アシスト付きタイプの自転車（幼児同乗用自転車を除く）	ロードバイク等スポーツタイプの自転車	小径タイプの折りたたみ自転車	シェアサイクル・レンタサイクル	その他	
全体	1,000	67.6	7.8	22.9	9.2	4.9	3.6	0.8	
性別	男性	490	69.0	5.7	20.0	14.5	6.7	5.1	1.0
	女性	510	66.3	9.8	25.7	4.1	3.1	2.2	0.6
年代	10代	20	75.0	0.0	15.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	20代	160	70.6	9.4	21.3	7.5	5.6	6.9	0.0
	30代	170	60.0	17.6	19.4	11.8	5.3	6.5	1.8
	40代	200	62.5	13.5	28.5	12.5	7.0	3.0	0.5
	50代	190	64.7	1.6	24.7	10.5	4.7	3.7	1.1
	60代	130	75.4	0.0	20.8	4.6	3.1	0.8	1.5
	70代	130	76.9	2.3	21.5	5.4	3.1	0.0	0.0
地域	23区	690	66.5	9.0	23.2	9.7	6.2	3.5	0.6
	市町村	310	70.0	5.2	22.3	8.1	1.9	3.9	1.3

3. あなたは主にどのような目的で自転車を利用していますか。(複数回答)

(1)全体

自転車利用の主な目的については、「近場への買い物などの移動の際に乗っている」が最も高く、75.0%。次いで、「通勤・通学の際に乗っている」が36.1%、「休日などに運動不足解消や趣味として乗っている」が20.2%と続く。



● 「その他」の内容（12件）

- ・ レジャー先での移動（1件）
- ・ 向かうところに無料の駐輪場があるときに乗っている（1件）
- ・ 駅までの移動手段（1件）
- ・ 孫に会いに行く時（1件）
- ・ ママさんバレー（1件）
- ・ スポーツする時に（1件）
- ・ トレーニング（1件）
- ・ ちょい乗り（1件）
- ・ 無回答（4件）

自転車利用者に対する調査

(2) 属性別

自転車利用の主な目的について性別・年代別にみると、男女とも「近場への買い物などの移動の際に乗っている」が7割を超えている。年代別では、10代は「通勤・通学の際に乗っている」が80.0%と高く、年代が上がるにつれて「近場への買い物などの移動の際に乗っている」と逆転する傾向にある。

		n	通勤・通学の際に乗っている	近場への買い物などの移動の際に乗っている	子ども（孫）の送り迎えの際に乗っている	休日などに運動不足解消や趣味として乗っている	業務で自転車に乗っている	その他
全体		1,000	36.1	75.0	8.8	20.2	5.0	1.2
性別	男性	490	36.3	71.8	8.4	26.3	5.9	1.4
	女性	510	35.9	78.0	9.2	14.3	4.1	1.0
年代	10代	20	80.0	40.0	0.0	20.0	5.0	0.0
	20代	160	47.5	58.1	8.8	21.3	6.9	1.9
	30代	170	41.8	70.6	18.2	22.9	7.1	0.6
	40代	200	42.5	73.0	16.5	20.5	9.0	1.5
	50代	190	37.9	78.4	2.1	15.8	1.1	1.1
	60代	130	20.8	86.9	3.1	14.6	2.3	0.8
	70代	130	10.8	93.1	1.5	26.9	2.3	1.5
地域	23区	690	36.1	75.8	9.9	20.4	5.8	1.2
	市町村	310	36.1	73.2	6.5	19.7	3.2	1.3

自転車利用者に対する調査

4. あなたは自転車の点検整備をしていますか。

自転車の点検整備について、「自身での日常的な点検整備をしている」または「1年に1度自転車店で点検整備をしている」との回答は全体の6割弱（56.2%）であった。「自身での日常的な点検整備をしている」では、男性が42.2%で女性（25.5%）より16.7ポイント高く、年代別にみると60代、70代が39.2%と同率で最も高い。なお、女性（54.9%）、10代（50.0%）、40代（54.5%）では5割以上が「点検整備をしていない」と回答した。

		n	自身での日常的な点検整備をしている	1年に1度自転車店で点検整備をしている	地域や学校で行う講習会等で点検整備をしている	その他	点検整備をしていない
全体		1,000	33.7	22.5	2.4	0.7	48.0
性別	男性	490	42.2	23.3	3.1	0.8	40.8
	女性	510	25.5	21.8	1.8	0.6	54.9
年代	10代	20	25.0	30.0	5.0	0.0	50.0
	20代	160	31.3	26.9	5.6	0.0	47.5
	30代	170	31.8	32.4	1.8	0.0	43.5
	40代	200	28.5	21.5	4.0	1.0	54.5
	50代	190	36.3	18.9	1.1	0.5	48.9
	60代	130	39.2	19.2	1.5	0.0	42.3
	70代	130	39.2	13.1	0.8	1.5	48.5
	地域	23区	690	33.2	23.6	2.9	0.9
市町村		310	34.8	20.0	1.3	0.3	49.0

● 「その他」の内容（7件）

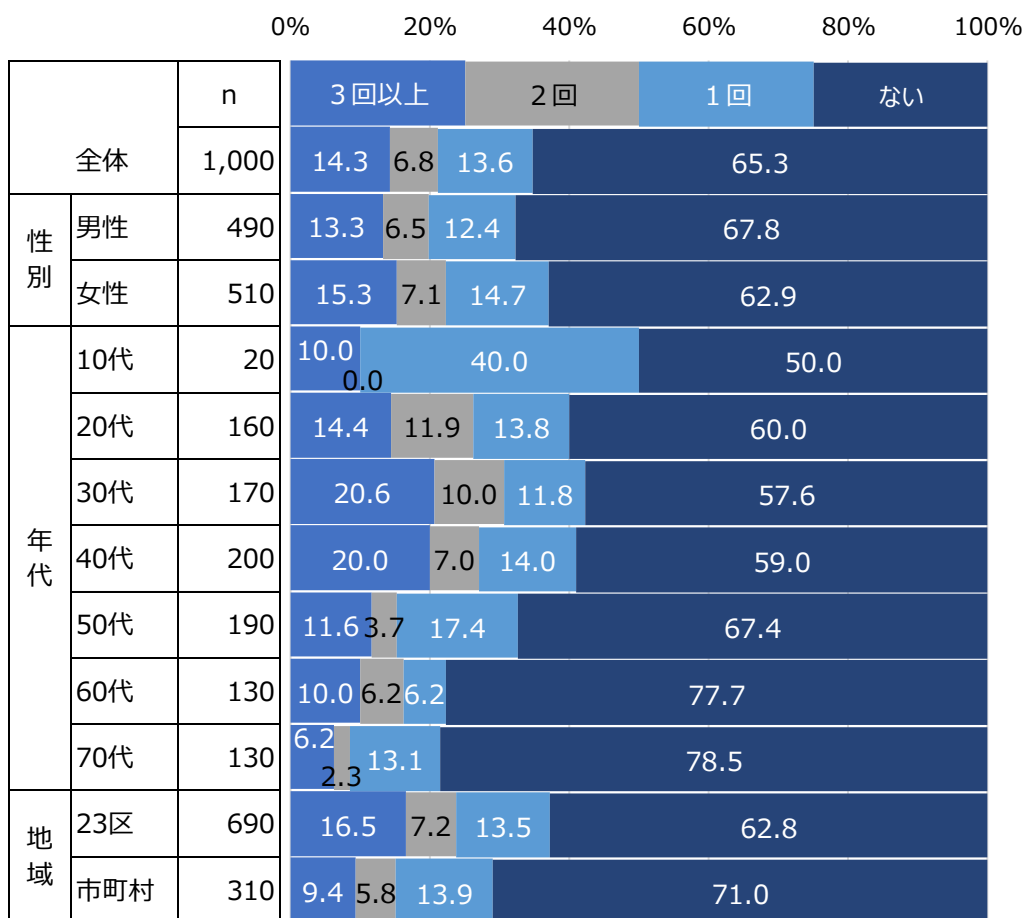
- ・ 気が向いたとき、おかしいと感じたとき（1件）
- ・ 具合の悪い時に点検整備（1件）
- ・ タイヤ、ブレーキ、ペダルは普段乗る時に気を付けている。（1件）
- ・ パートナーに定期メンテナンスしてもらっている（1件）
- ・ 夫がしている（1件）
- ・ 自転車店でグリス切れの時にしてもらっている（1件）
- ・ 空気を入れるぐらい（1件）

自転車利用者に対する調査

5. 最近3年間で、あなたが自転車に乗っている時、歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった経験がありますか。また、あなたが歩道を歩いている時、自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった経験がありますか。

●自転車に乗っているとき

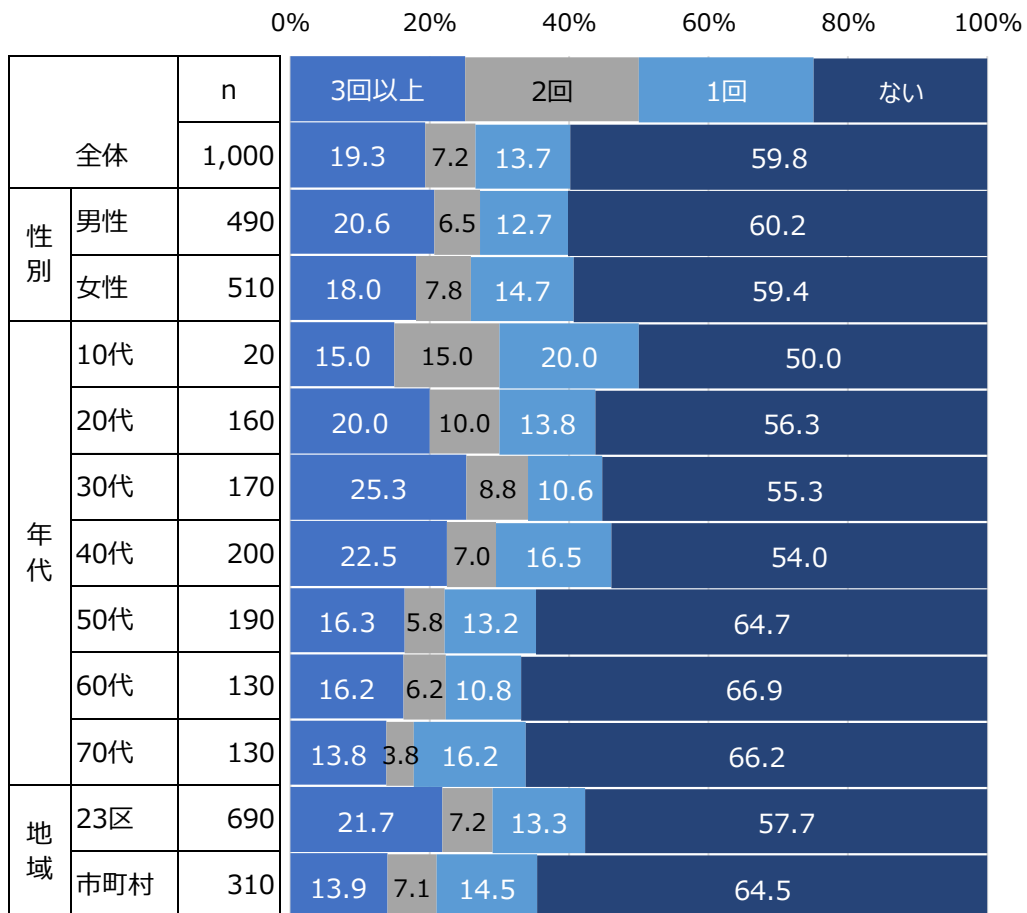
最近3年間で、歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった経験は、全体では3割以上（34.7%）が「1回」以上あるとしている。年代別にみると、10代が50.0%と最も高く、20代（40.0%）、30代（42.4%）、40代（41.0%）も4割台となっている。地域別では、23区が37.2%と市町村（29.0%）よりも8.2ポイント高い。



自転車利用者に対する調査

●歩道を歩いているとき

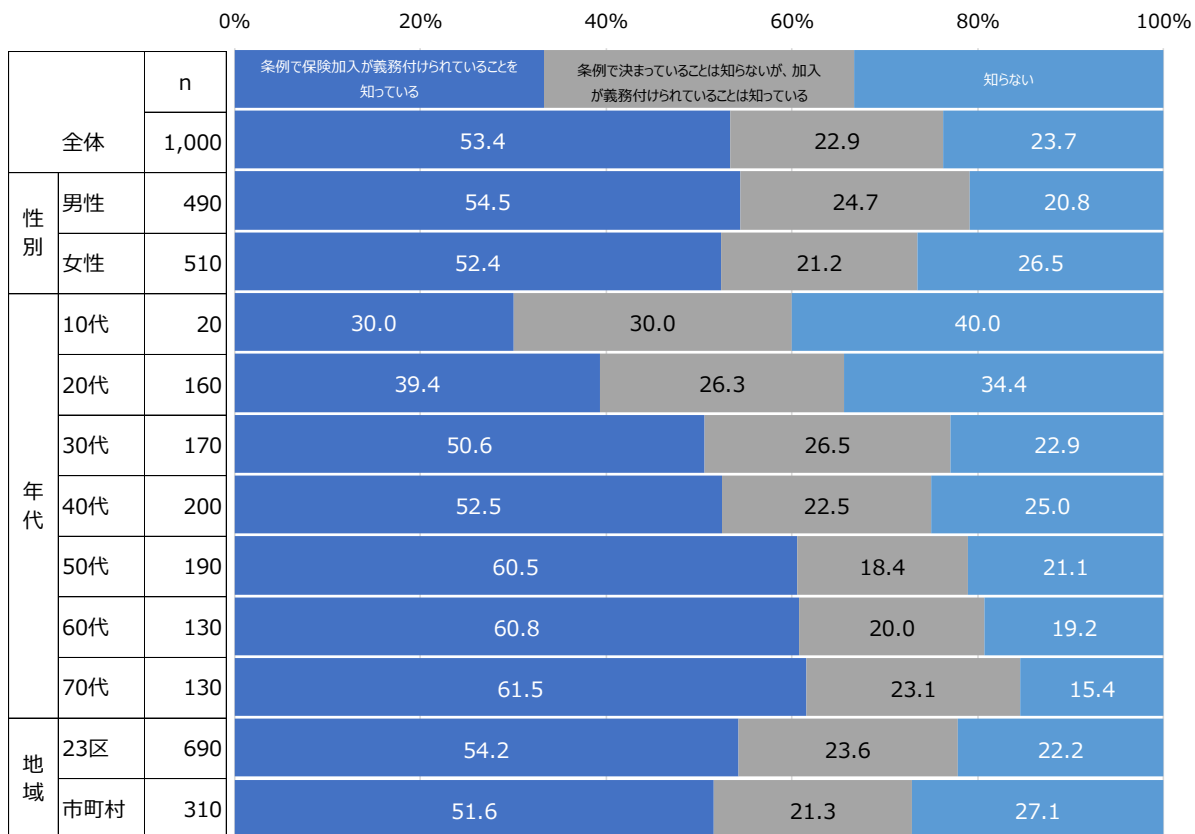
最近3年間で、歩道を歩いている時、自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった経験は、全体で4割（40.2%）が「1回」以上あるとしている。年代別にみると、10代が50.0%ともっとも高く、20代（43.8%）、30代（44.7%）、40代（46.0%）も4割台となっている。地域別では、23区が42.3%と市町村（35.5%）よりも6.8ポイント高い。



自転車利用者に対する調査

6. あなたは条例において、自転車利用中の事故により、他人にケガをさせてしまった場合などの損害を賠償できる保険等（以下「自転車損害賠償保険等」という。）への加入が義務付けられていることを知っていますか。

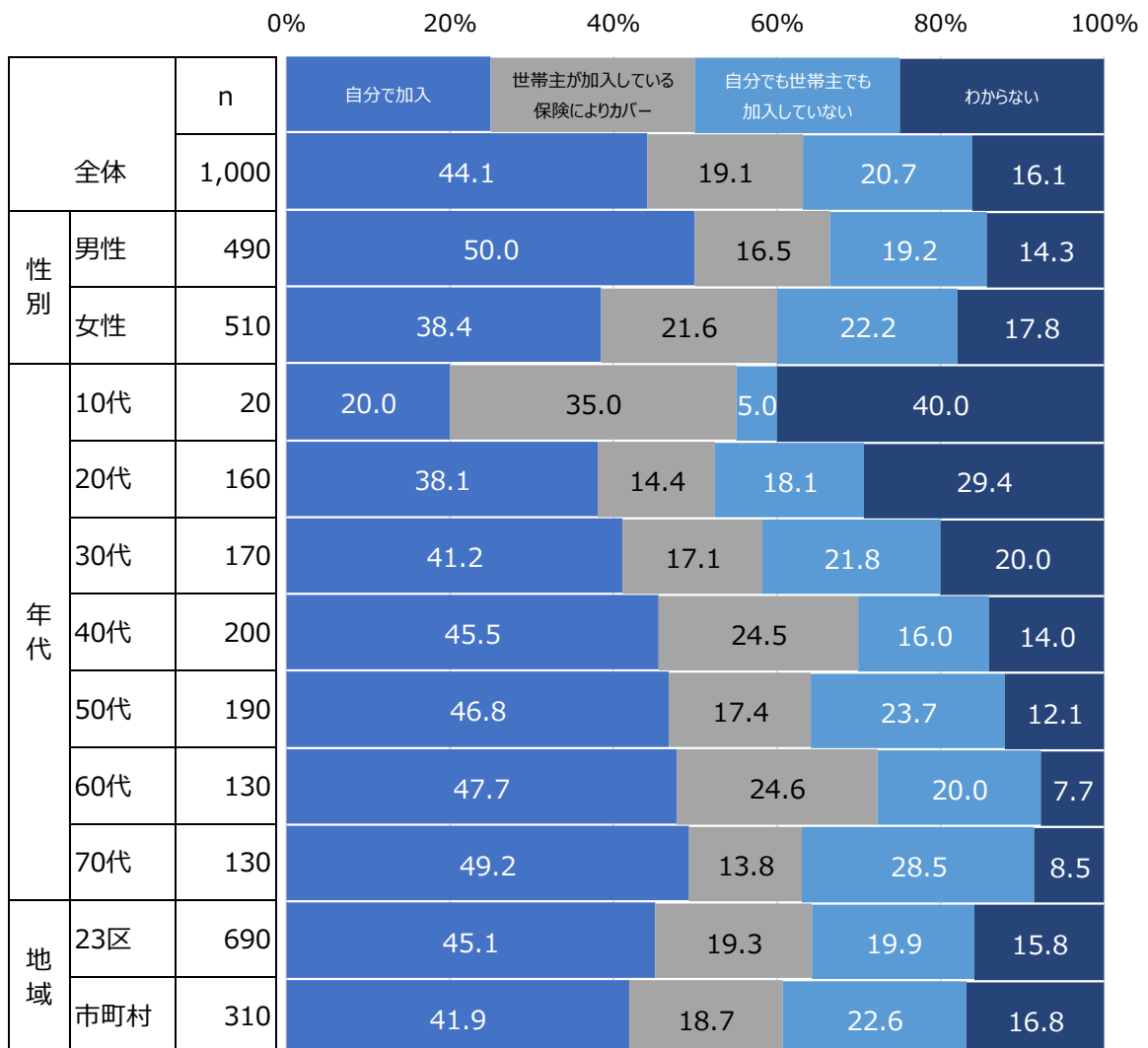
自転車損害賠償保険等への加入義務の認知について、「条例で保険加入が義務付けられていることを知っている」が53.4%、「条例で決まっていることは知らないが、加入が義務付けられていることは知っている」が22.9%で、合計は76.3%であった。年代別にみると、10代から70代まで年代が上がるにつれ認知度も高くなっている。一方、「知らない」は10代40.0%、20代34.4%と若年層で高い。



自転車利用者に対する調査

7. あなたは自転車損害賠償保険等に加入していますか。

自転車損害賠償保険等への加入状況について、「自分で加入している」が44.1%、「世帯主が加入している保険によりカバーされている」が19.1%で合計は63.2%となった。年代別にみると、10代～30代が5割台、50代、70代が6割台、40代、60代が7割台となっている。一方、「自分でも世帯主でも加入していない」では50代が23.7%と最も高く、10代では「分からない」が40.0%と高い。

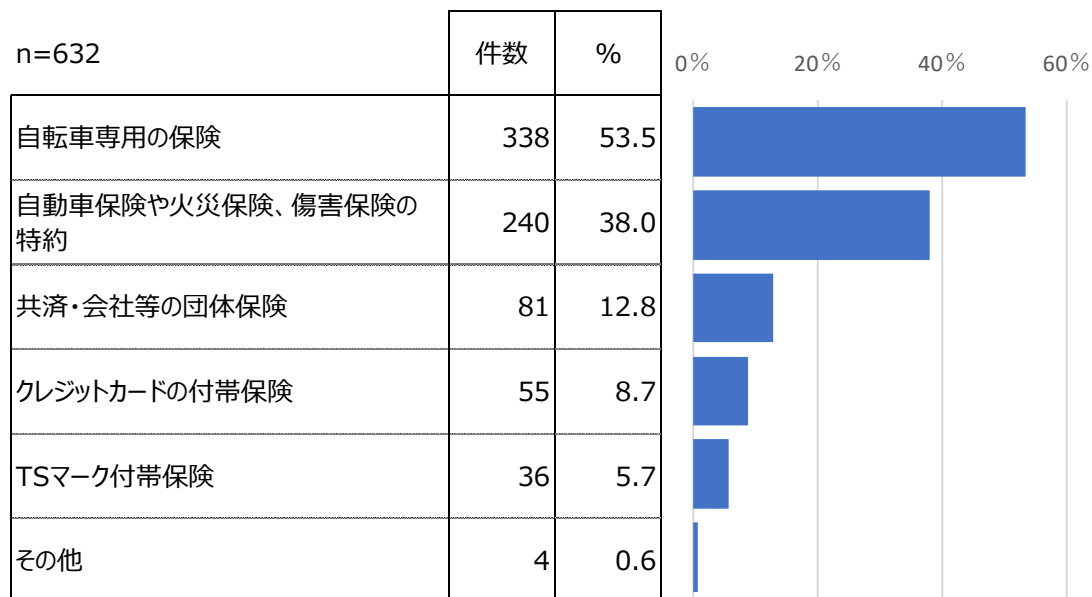


自転車利用者に対する調査

8. あなたが加入している自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類を教えてください。(複数回答)

(1)全体

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類については、「自転車専用の保険」が最も高く 53.5%、次いで「自転車保険や火災保険、傷害保険の特約」が 38.0%と続く。



※ 7で「自分で加入している」「世帯主が加入している保険によりカバーされている」の回答者 (n=632) が対象

● 「その他」の内容 (4件)

- ・ 自転車保険 (1件)
- ・ 無回答 (3件)

自転車利用者に対する調査

(2) 属性別

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類について、全体で最も高い「自転車専用の保険」では、30代が65.7%、20代60.7%と高い。10代は「TSマーク付帯保険」が27.3%と他の年代に比べ高い。「自転車保険や火災保険、傷害保険の特約」では70代が56.1%、60代が43.6%と高齢層で高い。

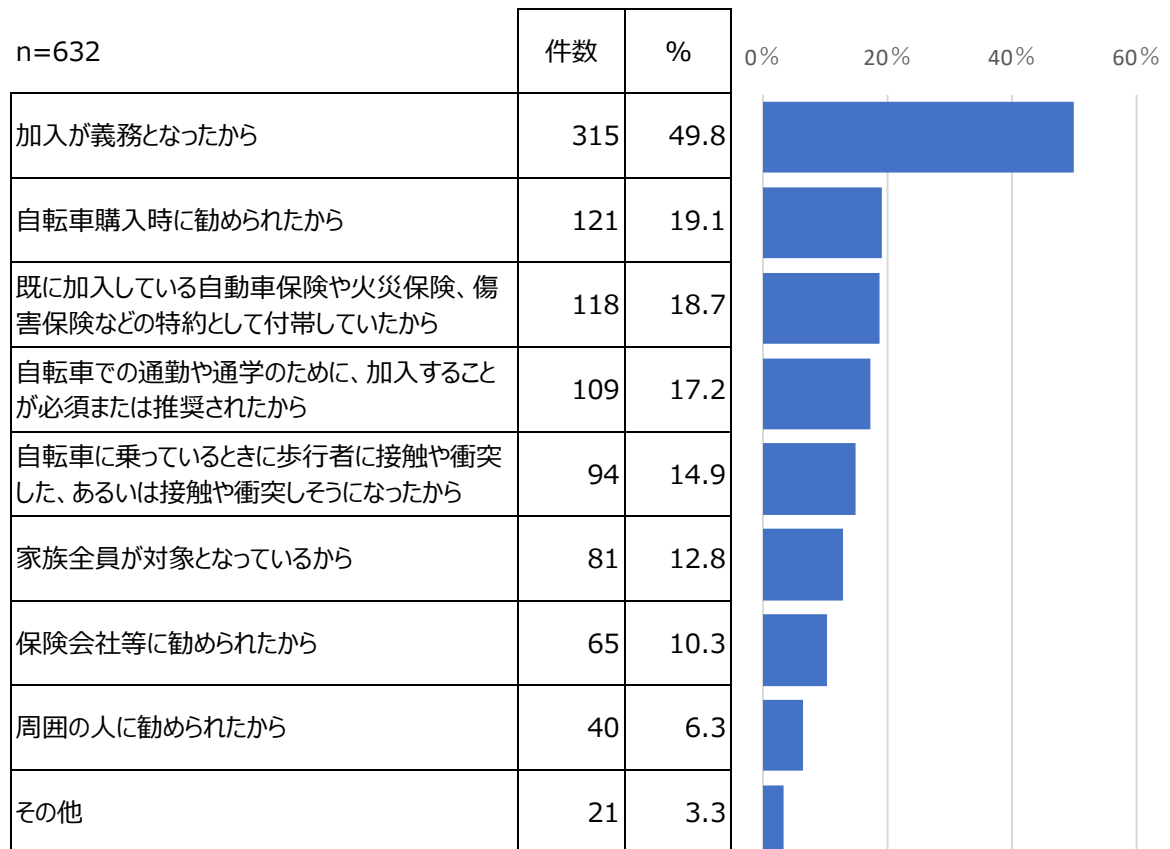
		n	自転車専用の保険	傷害保険の特約	自動車保険や火災保険、	共済・会社等の団体保険	クレジットカードの付帯	TSマーク付帯保険	その他
全体		632	53.5	38.0	12.8	8.7	5.7	0.6	
性別	男性	326	51.5	39.0	14.7	10.1	6.7	0.0	
	女性	306	55.6	36.9	10.8	7.2	4.6	1.3	
年代	10代	11	36.4	18.2	27.3	0.0	27.3	0.0	
	20代	84	60.7	31.0	22.6	19.0	9.5	0.0	
	30代	99	65.7	27.3	14.1	14.1	7.1	0.0	
	40代	140	54.3	38.6	17.1	9.3	5.7	0.0	
	50代	122	51.6	36.1	8.2	4.9	4.1	0.0	
	60代	94	46.8	43.6	8.5	3.2	3.2	3.2	
	70代	82	42.7	56.1	3.7	3.7	2.4	1.2	
地域	23区	444	53.8	39.0	13.5	9.7	5.6	0.7	
	市町村	188	52.7	35.6	11.2	6.4	5.9	0.5	

自転車利用者に対する調査

9. あなたが自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけは何ですか。（複数回答）

(1) 全体

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけについては「加入が義務となったから」が49.8%で最も高く、次いで「既に参加している自動車保険や火災保険、傷害保険などの特約として付帯していたから」が18.7%、「自転車購入時に勧められたから」19.1%と続く。



※ 7で「自分で加入している」「世帯主が加入している保険によりカバーされている」の回答者（n=632）が対象

● 「その他」の内容（21件）

- ・ 自転車の事故は大きな怪我を引き起こすとニュースで見たから（3件）
- ・ 報道で高額賠償請求されたケースをみて（3件）
- ・ 万が一の時に入っていた方がよいと思ったから（2件）
- ・ 共済保険のパンフレット（1件）
- ・ 住んで居る地域で推奨しているから（1件）
- ・ 前職で自転車通勤をしていた際に、会社から指示をされたから（1件）
- ・ 自転車に乗る機会が多いから（1件）
- ・ 友人が保険屋さんで働き始めたから（1件）
- ・ 高齢になってきたので（1件）
- ・ 巷での不幸な自転車事故での加害・被害を問わぬ悲惨な結果が生じているニュースから対処を実施したまで（1件）
- ・ 加入しないといけない事情があった（1件）
- ・ 親がすでに加入していた（1件）
- ・ 無回答（4件）

自転車利用者に対する調査

(2) 属性別

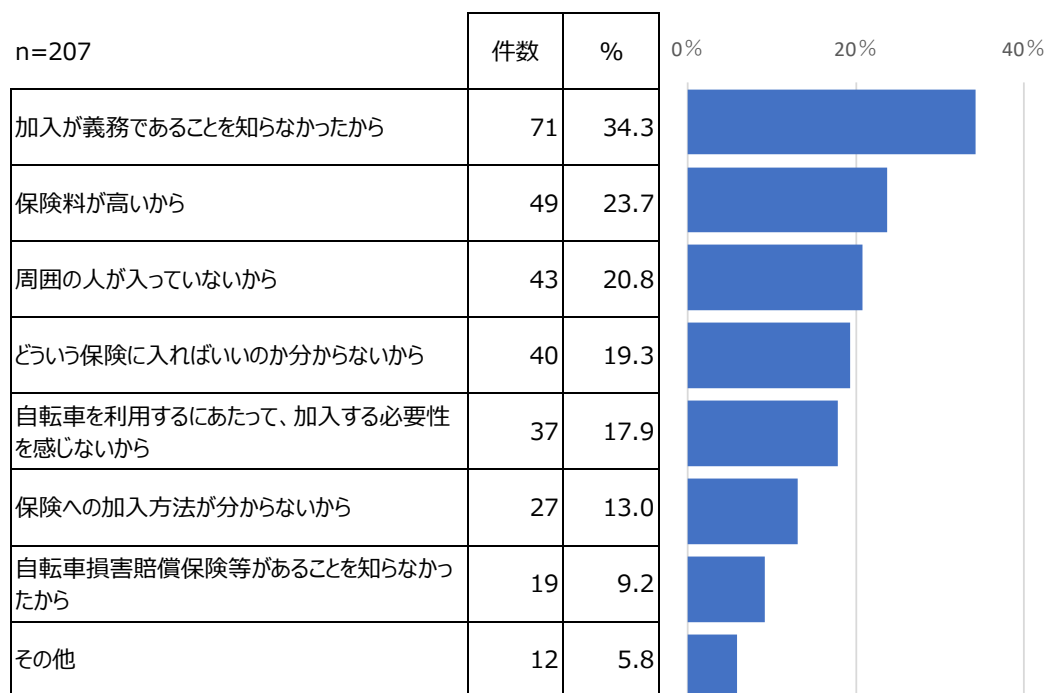
自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけについて、全体で最も高い「加入が義務となったから」では、男性が50.9%と女性（48.7%）より2.2ポイント高く、年代別では50代が58.2%と最も高くなっている。「既に参加している自動車保険や火災保険、傷害保険などの特約として付帯していたから」では70代が28.0%と高い。10代は「自転車での通勤や通学のために、加入することが必須または推奨されたから」も45.5%と高い。

		n	加入が義務となったから	自転車に衝突したとき、あるいは歩行者に衝突したから	自転車に乗っているときに歩行者に衝突したから	加入する通勤や通学のために、推奨されたから	自転車購入時に勧められたから	保険会社等に勧められたから	周囲の人に勧められたから	家族全員が対象となっているから	既に参加している自動車保険や火災保険、傷害保険などの特約として付帯していたから	その他
	全体	632	49.8	14.9	17.2	19.1	10.3	6.3	12.8	18.7	3.3	
性別	男性	326	50.9	15.0	16.6	18.4	12.3	6.1	12.0	20.6	2.8	
	女性	306	48.7	14.7	18.0	19.9	8.2	6.5	13.7	16.7	3.9	
年代	10代	11	36.4	9.1	45.5	36.4	9.1	9.1	18.2	9.1	0.0	
	20代	84	41.7	22.6	31.0	22.6	15.5	14.3	13.1	11.9	1.2	
	30代	99	52.5	19.2	31.3	23.2	11.1	7.1	9.1	12.1	1.0	
	40代	140	45.0	17.1	12.1	21.4	10.0	10.0	17.1	20.0	3.6	
	50代	122	58.2	9.8	17.2	12.3	5.7	0.8	15.6	18.0	2.5	
	60代	94	52.1	7.4	4.3	16.0	9.6	1.1	8.5	23.4	9.6	
	70代	82	50.0	14.6	6.1	18.3	12.2	4.9	9.8	28.0	2.4	
地域	23区	444	48.4	14.6	18.5	17.3	11.0	6.8	14.2	18.9	3.6	
	市町村	188	53.2	15.4	14.4	23.4	8.5	5.3	9.6	18.1	2.7	

10. あなたが自転車損害賠償保険等に加入していない理由を教えてください。（複数回答）

(1)全体

自転車損害賠償保険等に加入していない理由については、「加入が義務であることを知らなかったから」が34.3%と最も高く、次いで「保険料が高いから」が23.7%、「周囲の人が入っていないから」が20.8%と続く。



※ 7で「自分でも世帯主でも加入していない」の回答者(n=207)が対象

● 「その他」の内容（12件）

- ・ レンタサイクルしか利用しない（3件）
- ・ たまにしか乗らないため。罰則を理解してないため（2件）
- ・ 損害保険に加入しているから（1件）
- ・ 保険代を払うお金が無い（1件）
- ・ 入ろうとは思っているのですが…（1件）
- ・ 無回答（4件）

自転車利用者に対する調査

(2) 属性別

自転車損害賠償保険等に参加していない理由について、最も高い「加入が義務であることを知らなかったから」では、男性が36.2%と女性(32.7%)より3.5ポイント高い。年代別にみると、40代、60代、70代で4割以上となっている。地域別では23区が30.7%、市町村が41.4%と市町村が10.7ポイント高い。

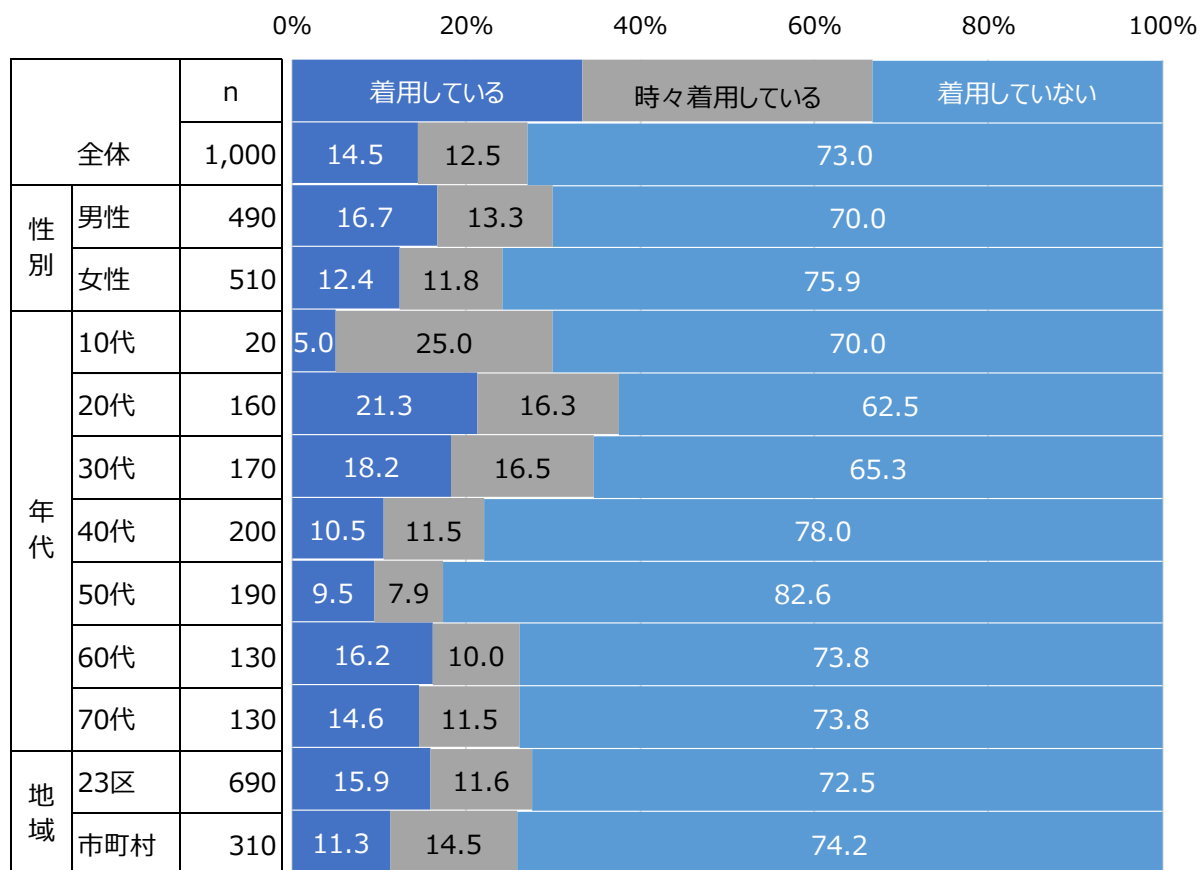
	n	か加入が義務であることを知らな	加入転車を利用する必要性を感じないから	と自転車を知らなかったから	分どうからという保険に入ればいいのか	から保険への加入方法が分からない	保険料が高いから	周囲の人が入っていないから	その他	
全体	207	34.3	17.9	9.2	19.3	13.0	23.7	20.8	5.8	
性別	男性	94	36.2	24.5	11.7	13.8	16.0	27.7	19.1	4.3
	女性	113	32.7	12.4	7.1	23.9	10.6	20.4	22.1	7.1
年代	10代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20代	29	34.5	13.8	13.8	17.2	17.2	20.7	24.1	0.0
	30代	37	29.7	2.7	2.7	29.7	16.2	27.0	21.6	5.4
	40代	32	43.8	12.5	12.5	18.8	12.5	25.0	9.4	3.1
	50代	45	22.2	31.1	15.6	13.3	17.8	22.2	22.2	11.1
	60代	26	42.3	23.1	7.7	15.4	3.8	23.1	23.1	11.5
	70代	37	40.5	21.6	2.7	21.6	8.1	24.3	21.6	2.7
地域	23区	137	30.7	16.8	8.8	23.4	13.1	22.6	24.8	4.4
	市町村	70	41.4	20.0	10.0	11.4	12.9	25.7	12.9	8.6

※ 10代はn=1のため参考値

自転車利用者に対する調査

11. 自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。

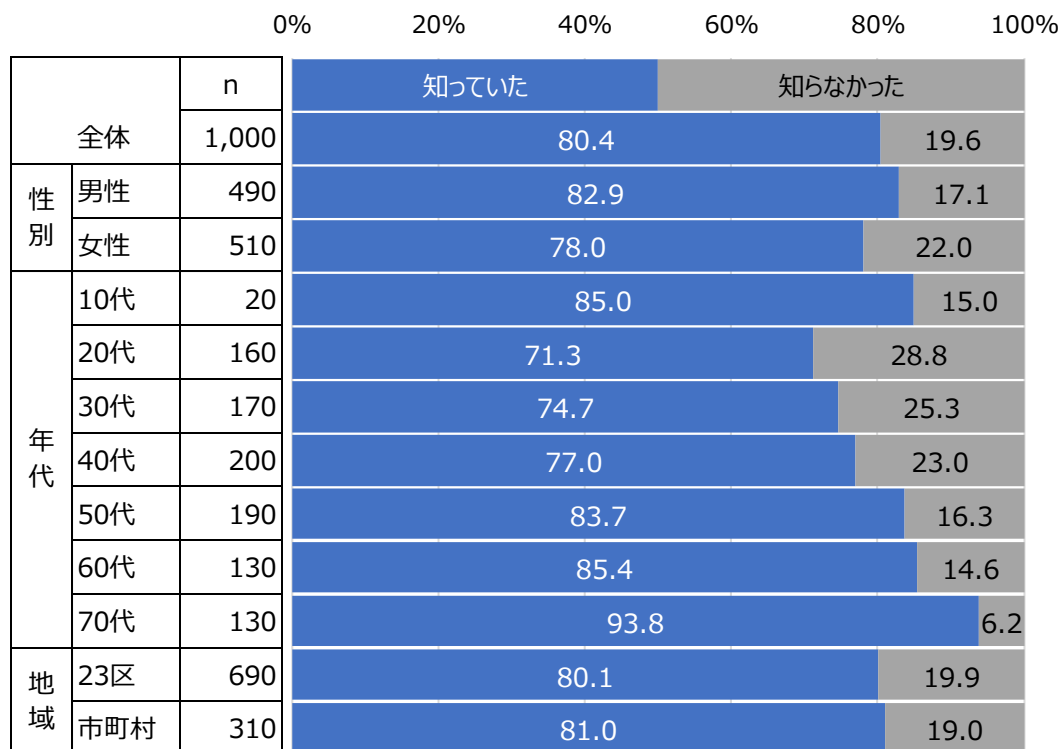
自転車を利用する際にヘルメットを着用しているかについては、全体では「着用している」が14.5%、「時々着用している」が12.5%、合計は27.0%だった。年代別では、20代が37.5%、30代が34.7%、10代が30.0%の順となっており、若い年代の方がヘルメットを着用している割合が高い。



自転車利用者に対する調査

12. あなたは、道路交通法や東京都自転車条例で自転車ヘルメットの着用が努力義務であることを知っていましたか。

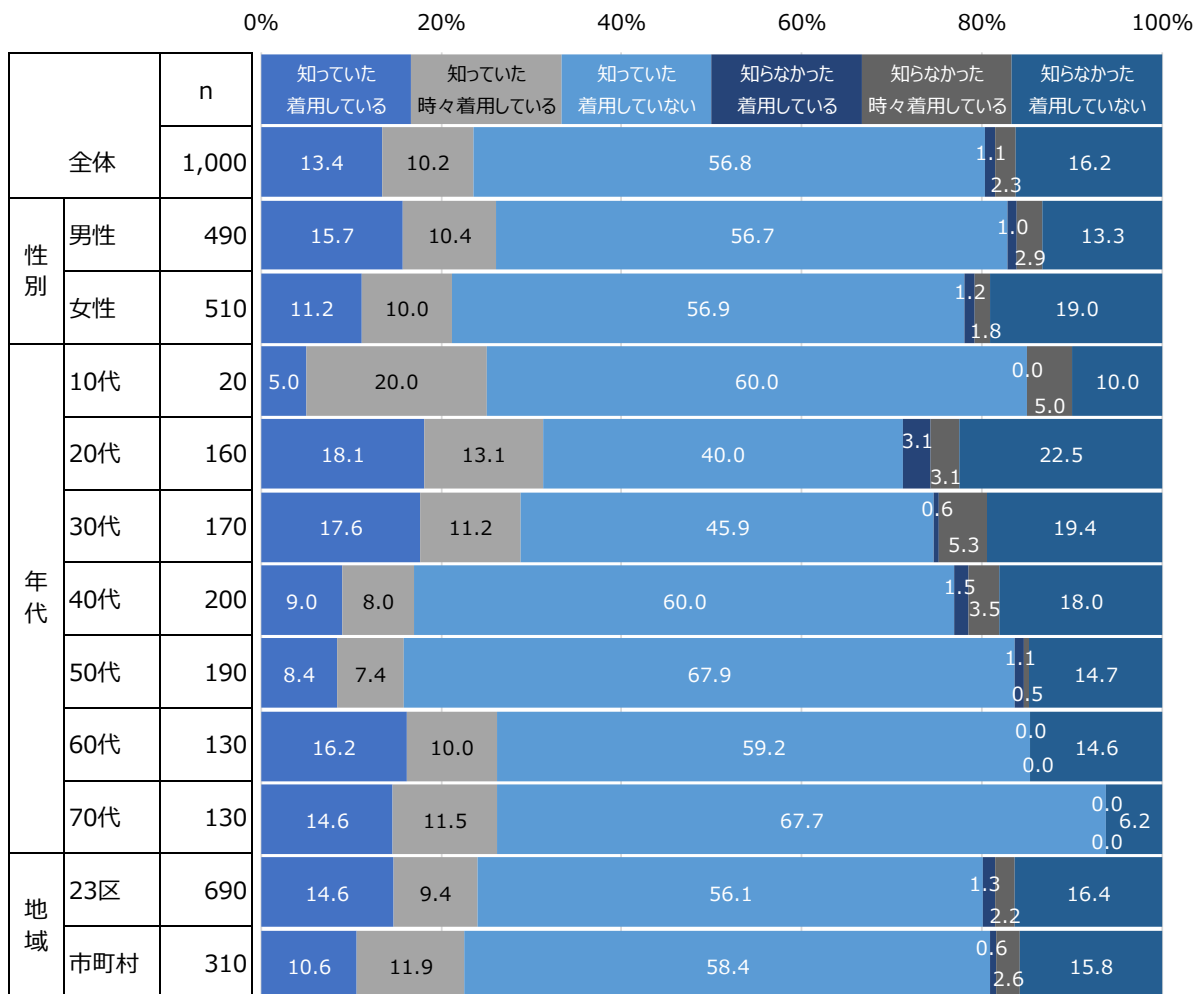
自転車ヘルメットの着用が努力義務であることを知っていたかについては、「知っていた」が80.4%と8割を超えた。20代から70代は年齢が高いほど認知度が高まり70代では93.8%となっている。一方10代は85.0%と70代、60代に次いで高い。



自転車利用者に対する調査

●12×11のクロス集計

12. 自転車ヘルメットの着用が努力義務であることの認知と 11. ヘルメット着用状況のクロス集計を行ったところ、「知っていて着用」「知っていて時々着用」の合計は 23.6%に対し、「知らなくて着用」「知らなくて時々着用」の合計は 3.4%にとどまっている。「知っていて着用」「知っていて時々着用」の合計は、年代別では、20代が 31.2%と最も高く、次いで 30代 28.8%となっている。20代、30代は、「知っていたが着用していない」の割合が他の年代よりも低い。



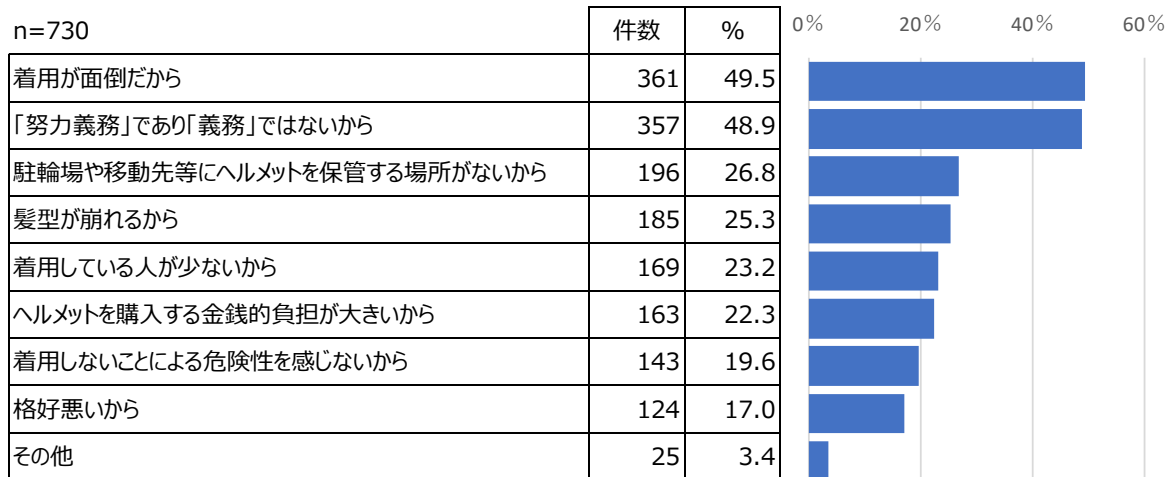
自転車利用者に対する調査

13. あなたが自転車ヘルメットを着用していない理由を選び、そのうち最大の理由を教えてください。(複数回答)

(1) 全体

●ヘルメットを着用しない理由

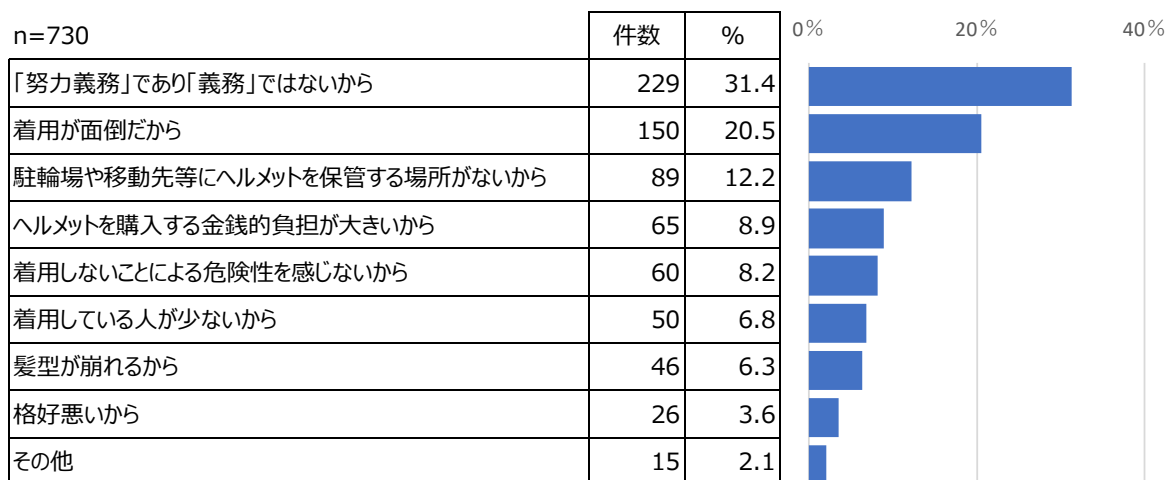
自転車ヘルメットを着用しない理由は、「着用が面倒だから」が49.5%と最も高く、次いで「『努力義務』であり『義務』ではないから」が48.9%と続く。



※ 11でヘルメットを「着用していない」の回答者(n=730)が対象

●そのうち最大の理由

着用しない最大の理由は、「『努力義務』であり『義務』ではないから」が31.4%と最も高く、次いで「着用が面倒だから」が20.5%と続く。



● 「その他」の内容—ヘルメットを着用しない理由（25件）

- ・ 帽子を着用するから（3件）
- ・ サイズがない（2件）
- ・ 気に入ったのがない（1件）
- ・ 視野が狭まる（1件）
- ・ 高いから（1件）
- ・ ダサい（1件）
- ・ 暑い（1件）
- ・ 補聴器と併用するのが難しく煩わしいため（1件）
- ・ 首の筋肉が弱いので、試着した際に首の血管に良くないと感じた（1件）
- ・ 売り切れだった（1件）
- ・ 自転車を降りてから邪魔だから（1件）
- ・ 近場の買い物くらいしか乗らないから（1件）
- ・ キャップの中に簡易型のものを入れている（1件）
- ・ 近いうちに買いたいと思っているが、どんなものが良いか分からないから（1件）
- ・ 購入する予定（1件）
- ・ 殆ど自転車に乗らないから（1件）
- ・ 今までヘルメットを着用する習慣がなかったから（1件）
- ・ 所有はしているが女性用のものが無い（1件）
- ・ ヘルメットを購入していない（1件）
- ・ ヘルメットをとられた（1件）
- ・ 無回答（2件）

● 「その他」の内容—そのうち最大の理由（15件）

- ・ 帽サイズがない（2件）
- ・ 気に入ったのがない（1件）
- ・ 視野が狭まる（1件）
- ・ 高いから（1件）
- ・ 気に入ったのがない
- ・ ダサい（1件）
- ・ 首の筋肉が弱いので、試着した際に首の血管に良くないと感じた（1件）
- ・ 購入する予定（1件）
- ・ 殆ど自転車に乗らないから（1件）
- ・ 今までヘルメットを着用する習慣がなかったから（1件）
- ・ 所有はしているが女性用のものが無い（1件）
- ・ ヘルメットを購入していない（1件）
- ・ ヘルメットをとられた（1件）
- ・ 無回答（2件）

自転車利用者に対する調査

(2) 属性別

●ヘルメットを着用しない理由

年齢別に見ると、「着用が面倒だから」は10代が71.4%と突出して高い。「『努力義務』であり『義務』ではないから」は10代が57.1%、60代、70代がともに54.2%となっている。10代では「着用している人が少ないから」も64.3%と他の年代に比べ高い。

	n	着用しないことによる危険性	着用が面倒だから	格好悪いから	髪型が崩れるから	着用している人が少ないから	駐輪場や移動先等にヘルメットを保管する場所がないから	ヘルメットを購入する金銭的負担が大きいから	「努力義務」であり「義務」ではないから	その他	
全体	730	19.6	49.5	17.0	25.3	23.2	26.8	22.3	48.9	3.4	
性別	男性	343	24.8	51.9	15.2	19.5	20.1	25.4	23.3	51.6	2.6
	女性	387	15.0	47.3	18.6	30.5	25.8	28.2	21.4	46.5	4.1
年代	10代	14	0.0	71.4	14.3	28.6	64.3	14.3	21.4	57.1	0.0
	20代	100	17.0	43.0	20.0	31.0	29.0	22.0	27.0	40.0	0.0
	30代	111	16.2	41.4	18.9	27.0	15.3	20.7	19.8	49.5	0.0
	40代	156	23.7	53.8	21.2	31.4	22.4	23.1	25.0	47.4	5.8
	50代	157	21.7	52.2	17.8	24.2	17.8	24.2	19.7	48.4	1.9
	60代	96	13.5	42.7	9.4	18.8	24.0	39.6	20.8	54.2	8.3
	70代	96	25.0	57.3	11.5	15.6	29.2	38.5	21.9	54.2	5.2
地域	23区	500	18.0	48.0	17.8	27.0	22.4	26.4	20.8	49.2	3.8
	市町村	230	23.0	52.6	15.2	21.7	24.8	27.8	25.7	48.3	2.6

自転車利用者に対する調査

●そのうち最大の理由

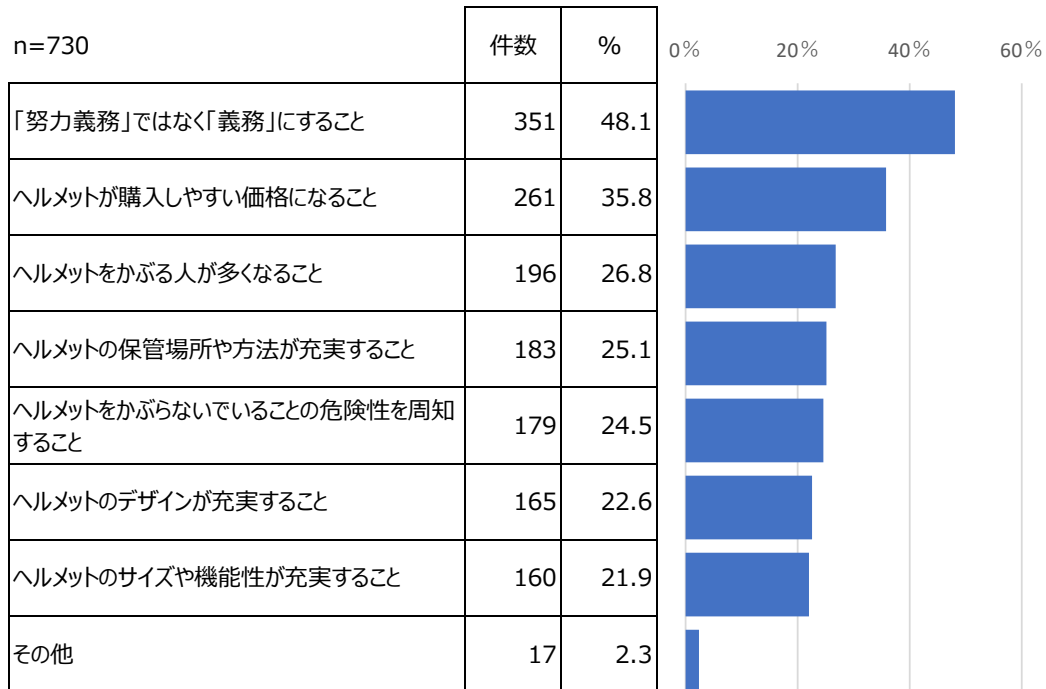
着用しない最大の理由は、全ての年代で「『努力義務』であり『義務』ではないから」が最も高く、60代以外の年代で「着用が面倒だから」を2番目に挙げている。60代は「駐輪場や移動先等にヘルメットを保管する場所がないから」が2番目となっている。

	n	着用しないことによる危険性を感しないから	着用が面倒だから	格好悪いから	髪型が崩れるから	着用している人が少ないから	駐輪場や移動先等にヘルメットを保管する場所がないから	ヘルメットを購入する金銭的負担が大きいから	「努力義務」であり「義務」ではないから	その他	
全体	730	8.2	20.5	3.6	6.3	6.8	12.2	8.9	31.4	2.1	
性別	男性	343	11.1	22.4	1.5	5.0	5.0	10.5	8.7	34.4	1.5
	女性	387	5.7	18.9	5.4	7.5	8.5	13.7	9.0	28.7	2.6
年代	10代	14	0.0	28.6	0.0	7.1	7.1	0.0	14.3	42.9	0.0
	20代	100	6.0	21.0	4.0	11.0	11.0	6.0	15.0	26.0	0.0
	30代	111	6.3	21.6	2.7	9.0	6.3	9.9	7.2	36.9	0.0
	40代	156	7.7	19.2	6.4	5.1	4.5	10.3	12.2	31.4	3.2
	50代	157	12.1	23.6	4.5	5.1	5.7	12.1	4.5	31.8	0.6
	60代	96	6.3	16.7	1.0	6.3	6.3	21.9	5.2	29.2	7.3
	70代	96	10.4	18.8	1.0	2.1	9.4	16.7	9.4	30.2	2.1
地域	23区	500	7.2	20.0	3.8	7.0	6.8	11.4	8.8	32.8	2.2
	市町村	230	10.4	21.7	3.0	4.8	7.0	13.9	9.1	28.3	1.7

14. 自転車乗用中のヘルメット着用を促進するためには何が必要だと思いますか。(複数回答)

(1) 全体

自転車乗用中のヘルメット着用を促進するために必要なこととして、全体では「『努力義務』ではなく『義務』にすること」が48.1%と最も高く、次いで「ヘルメットが購入しやすい価格になること」35.8%、「ヘルメットをかぶる人が多くなること」26.8%と続く。



※ 11でヘルメットを「着用していない」の回答者(n=730)が対象

● 「その他」の内容(17件)

- ・ 必要ない(8件)
- ・ 個人の自由で良い(3件)
- ・ ヘルメットが支給されること(1件)
- ・ 警視庁のお巡りさんが被ってるような優しいデザインのもが増えると良いと思います(1件)
- ・ かぶることで特典があること(1件)
- ・ 女性用で機能だけでなくデザインにも気を配ったヘルメットの開発(1件)
- ・ 事故ありきを念頭から排除し予防回避に注力されたし。事故ありきの発想をなくす努力を願う(1件)
- ・ 目的に反対(1件)

自転車利用者に対する調査

(2) 属性別

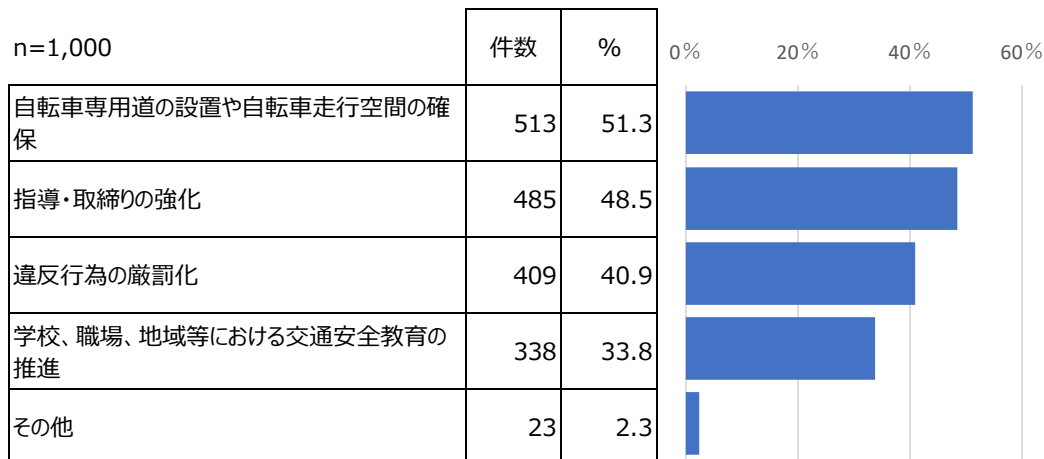
自転車乗用中のヘルメット着用を促進するために必要なこととして、年代別に見ると20代と70代以外の年代では「『努力義務』ではなく『義務』にすること」が最も高く、10代では64.3%、30代55.9%、50代54.1%などとなっている。20代と70代は「ヘルメットが購入しやすい価格になること」が「『努力義務』ではなく『義務』にすること」を上回る。

	n	このヘルメットの危険性を周知すること	充実するヘルメットのサイズや機能が	ヘルメットのデザインが充実する	ヘルメットをかぶる人が多くなる	ヘルメットの保管場所や方法が	ヘルメットが購入しやすい価格になること	「努力義務」ではなく「義務」にすること	その他	
全体	730	24.5	21.9	22.6	26.8	25.1	35.8	48.1	2.3	
性別	男性	343	23.6	19.5	14.9	22.4	20.4	33.8	52.5	2.6
	女性	387	25.3	24.0	29.5	30.7	29.2	37.5	44.2	2.1
年代	10代	14	21.4	14.3	28.6	28.6	7.1	21.4	64.3	0.0
	20代	100	29.0	16.0	28.0	29.0	23.0	36.0	35.0	0.0
	30代	111	20.7	19.8	21.6	27.0	20.7	32.4	55.9	0.9
	40代	156	26.3	24.4	24.4	25.0	23.7	34.6	46.2	2.6
	50代	157	20.4	20.4	22.3	29.3	24.8	33.8	54.1	4.5
	60代	96	18.8	20.8	15.6	24.0	32.3	37.5	51.0	3.1
	70代	96	34.4	31.3	21.9	26.0	30.2	44.8	40.6	2.1
地域	23区	500	25.0	21.0	22.0	26.6	23.8	33.4	49.4	2.4
	市町村	230	23.5	23.9	23.9	27.4	27.8	40.9	45.2	2.2

15. あなたは自転車事故を減らすために何が必要だと思いますか。（複数回答）

(1) 全体

自転車事故を減らすために何が必要だと思うかについては、「自転車専用道の設置や自転車走行空間の確保」が51.3%と最も高く、次いで「指導・取締りの強化」が48.5%、「違反行為の厳罰化」が40.9%と続く。



● 「その他」の内容（23件）

- ・ 自転車免許制度（4件）
- ・ 電動自転車を使用している人の自転車走行マナー（2件）
- ・ 自転車の交通ルールを浸透させる。
- ・ 道が狭いこと、歩行者が並んで歩くせいで避けた空間でぶつかりそうになったから歩行者のせいでもある
- ・ 電柱を地面に埋め立てること。歩道が狭すぎる。また、学生の並走運転も多いので、指導を徹底した方が良い。
- ・ 自動車の取締まり
- ・ 運転が下手な人間が乗るからそうなる
- ・ 自己責任
- ・ 老人を取り締まればいい
- ・ 交通弱者や歩行者優先等の法の元の不平等をやめることからまずスタートすべきだと思います。
- ・ 自転車は危ないという風潮を煽らないで啓もう活動を望みます
- ・ 保管方法があれば
- ・ 無回答（7件）

自転車利用者に対する調査

(2) 属性別

自転車事故を減らすために必要と思うことについて、最も高い「自転車専用道の設置や自転車走行空間の確保」を年代別に見ると70代（60.8%）、10代（60.0%）、60代（56.9%）などが高い。地域別では23区が48.4%、市町村が57.7%と市町村でのニーズが上回っている。次に高い「指導・取締りの強化」を年代別に見ると、70代（56.2%）、40代（49.5%）、30代（49.4%）などが高い。

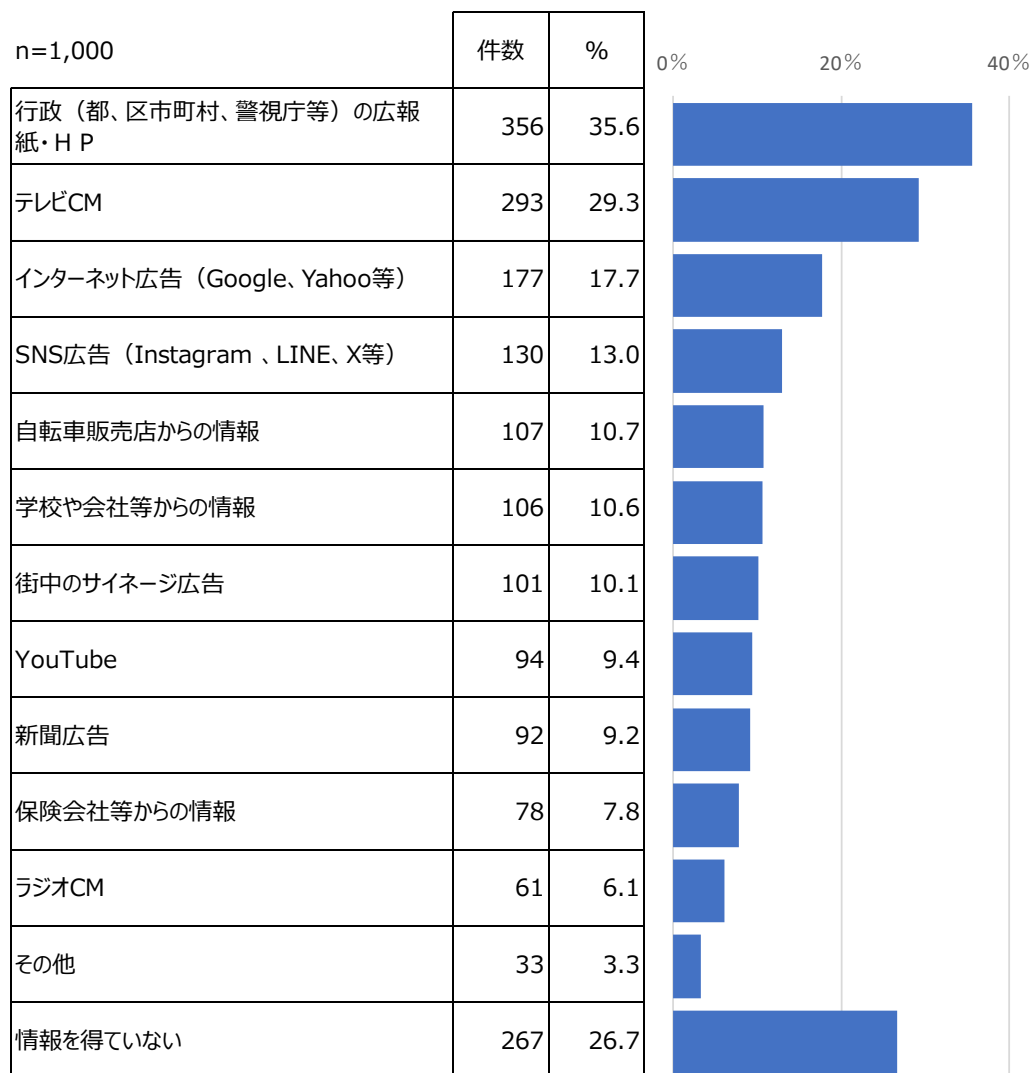
	n	指導・取締りの強化	学校、職場、地域等に 交通安全教育の推進	自転車専用道の設置や 自転車走行空間の確保	違反行為の厳罰化	その他	
全体	1,000	48.5	33.8	51.3	40.9	2.3	
性別	男性	490	48.6	33.3	49.6	42.9	2.0
	女性	510	48.4	34.3	52.9	39.0	2.5
年代	10代	20	45.0	45.0	60.0	45.0	0.0
	20代	160	42.5	36.9	43.1	36.3	1.3
	30代	170	49.4	34.7	41.8	41.8	1.2
	40代	200	49.5	32.5	55.5	39.5	2.5
	50代	190	47.4	27.9	51.1	43.2	3.2
	60代	130	47.7	30.0	56.9	42.3	4.6
	70代	130	56.2	41.5	60.8	42.3	1.5
地域	23区	690	49.0	33.3	48.4	43.0	2.8
	市町村	310	47.4	34.8	57.7	36.1	1.3

自転車利用者に対する調査

16. あなたは自転車の安全利用（自転車損害賠償保険加入、ヘルメット着用、その他ルール全般）に関する情報を主にどの媒体から得ていますか。（複数回答）

(1)全体

自転車の安全利用に関する情報源については、「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」が35.6%で最も高く、次いで「テレビCM」が29.3%、「インターネット広告（Google、Yahoo等）」が17.7%と続く。「情報を得ていない」も26.7%と4人に1人以上となっている。



●「その他」の内容（33）

- ・ 新聞、テレビ、ネットのニュースや情報番組（28件）
- ・ 友人知人（4件）
- ・ 駐輪場でのPR活動（1件）

自転車利用者に対する調査

(2) 属性別

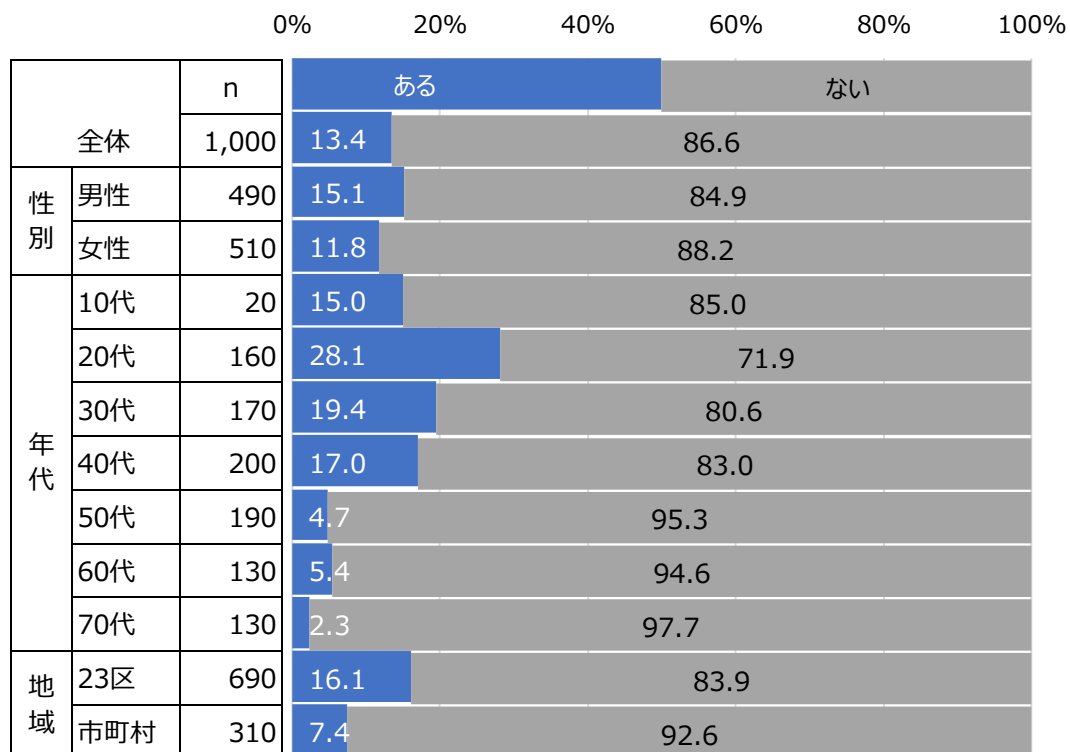
自転車の安全利用に関する情報源で最も高い「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」について年代別にみると、70代が63.8%、60代が43.1%、50代が34.7%と年代が高いほど情報源として活用されている。30代から70代では「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」の割合が最も高い。一方、10代、20代は「情報を得ていない」が最も高く、また10代では「SNS広告（Instagram、LINE、X等）」が35%と「情報を得ていない」と並ぶ。

	n	行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP	インターネット広告（Google、Yahoo等）	SNS広告（Instagram、LINE、X等）	YouTube	街中のサイネージ広告	テレビCM	ラジオCM	新聞広告	学校や会社からの情報	自転車販売店からの情報	保険会社等からの情報	その他	情報を得ていない	
全体	1,000	35.6	17.7	13.0	9.4	10.1	29.3	6.1	9.2	10.6	10.7	7.8	3.3	26.7	
性別	男性	490	37.6	20.6	15.5	12.2	11.4	31.0	7.6	12.4	10.8	10.6	10.4	2.7	24.1
	女性	510	33.7	14.9	10.6	6.7	8.8	27.6	4.7	6.1	10.4	10.8	5.3	3.9	29.2
年代	10代	20	20.0	20.0	35.0	20.0	15.0	25.0	10.0	5.0	15.0	10.0	5.0	0.0	35.0
	20代	160	23.1	15.0	19.4	16.9	9.4	21.9	6.3	4.4	10.0	10.6	7.5	2.5	31.3
	30代	170	26.5	17.6	20.0	12.4	15.9	24.1	7.1	5.9	15.3	8.2	9.4	2.9	25.3
	40代	200	32.5	21.0	14.5	10.0	12.0	25.5	5.5	7.0	16.0	13.5	5.5	2.5	31.0
	50代	190	34.7	20.0	8.9	6.8	7.9	31.6	3.2	4.2	7.4	7.9	6.8	5.3	29.5
	60代	130	43.1	11.5	6.2	3.8	5.4	29.2	6.2	14.6	6.9	7.7	8.5	3.1	29.2
	70代	130	63.8	18.5	3.1	3.1	7.7	48.5	9.2	25.4	4.6	16.9	10.8	3.8	8.5
地域	23区	690	33.6	16.7	13.8	10.0	10.3	27.7	7.0	9.4	10.6	11.3	8.1	3.3	26.7
	市町村	310	40.0	20.0	11.3	8.1	9.7	32.9	4.2	8.7	10.6	9.4	7.1	3.2	26.8

自転車利用者に対する調査

17. これまでに電動キックボード（特定原付）を利用したことがありますか。

全体では、電動キックボード（特定原付）を利用したことは「ない」が86.6%と大多数を占め、「ある」は13.4%にとどまっている。男女別では、男性15.1%、女性11.8%と男性が女性を3.3ポイント上回る。年代別では、20代28.1%、30代19.4%、40代17.0%の順となっている。地域別では23区（16.1%）が市町村（7.4%）を8.7ポイント上回る。

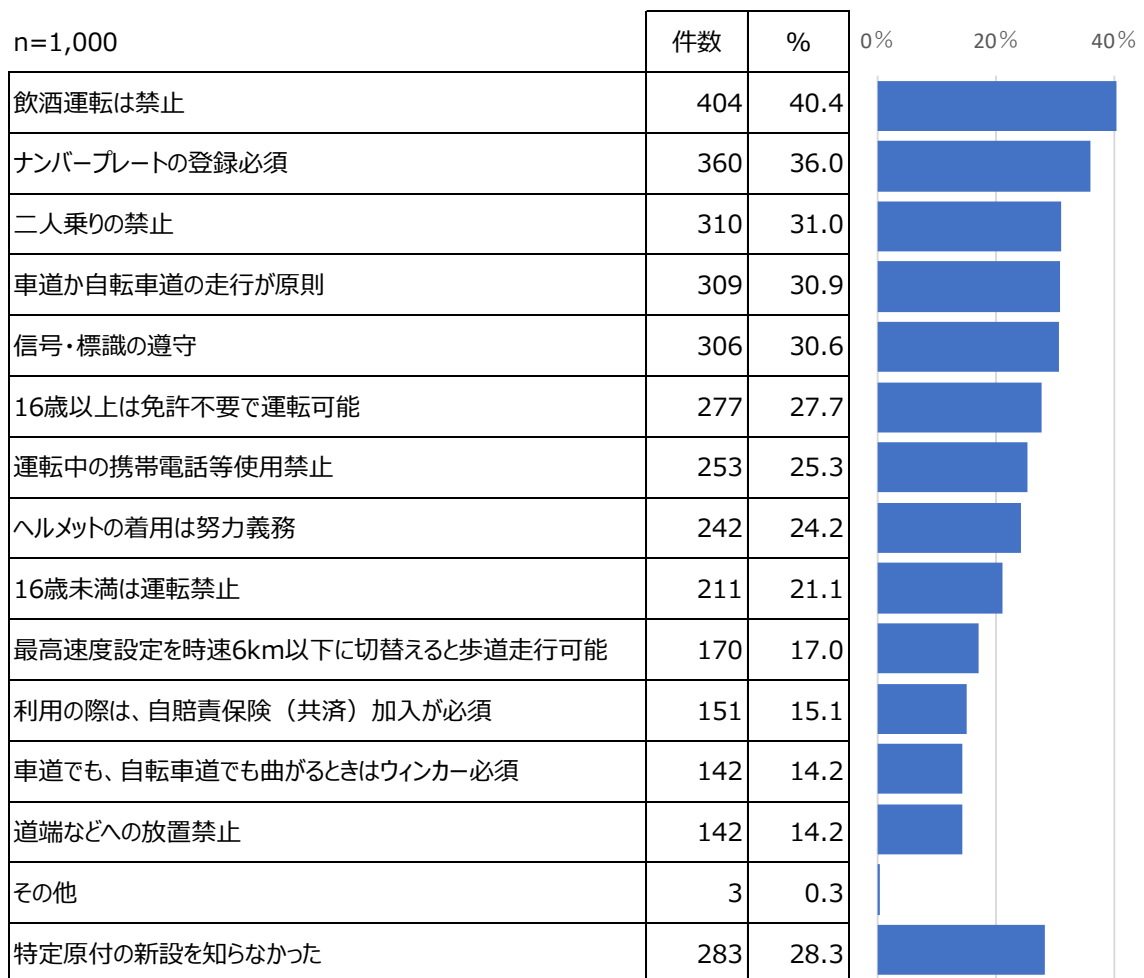


自転車利用者に対する調査

18. 以下の「特定原付」の電動キックボード利用時のルールのうち、あなたが知っているものをすべてお選びください。（複数回答）

(1)全体

電動キックボード利用時のルールの認知について、何らかのルールを知っていたのは、「特定原付の新設を知らなかった」（28.3%）と「その他」（0.3%）を除く71.4%で、上位には「飲酒運転は禁止」（40.4%）、「ナンバープレートの登録必須」（36.0%）、「二人乗りの禁止」（31.0%）の順である。一方、下位は「道端などへの放置禁止」（14.2%）、「車道でも、自転車道でも曲がる時はウィンカー必須」（14.2%）、「利用の際は、自賠償保険（共済）加入が必須」（15.1%）の順となっている。



● 「その他」の内容（3件）

- ・ 知っているものはない（3件）

自転車利用者に対する調査

(2)属性別

電動キックボード利用時のルールの認知について、多くの項目で70代が最も認知度が高く、次いで60代が高いという傾向がある。

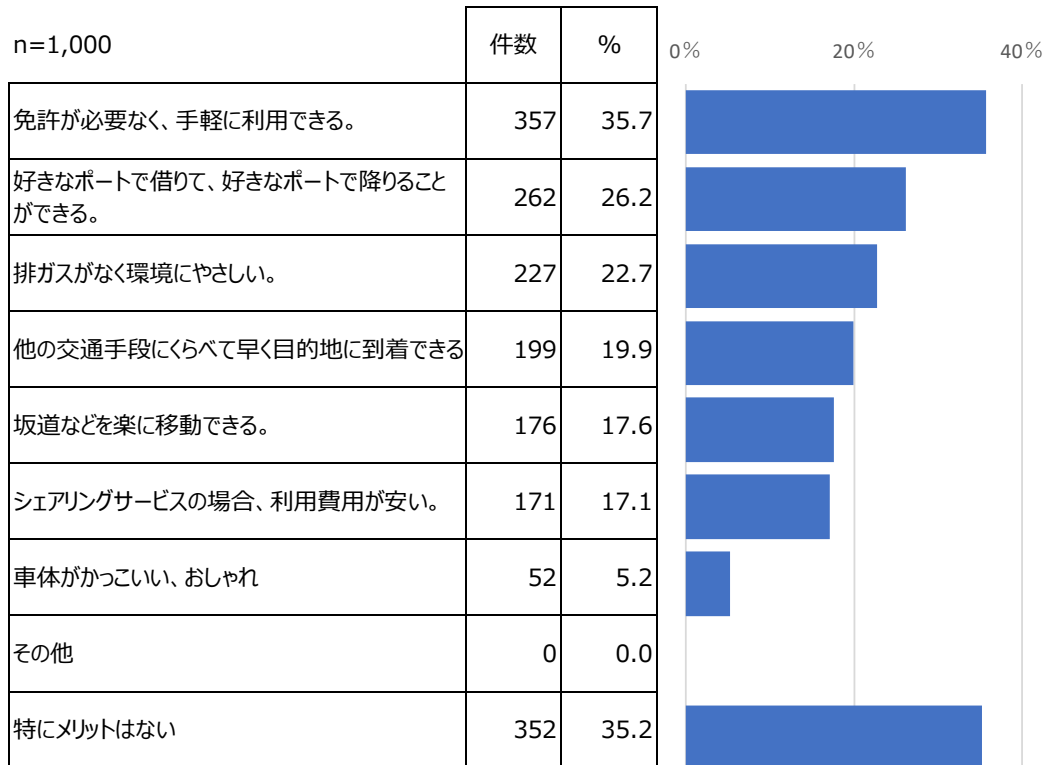
		n	16歳未満は運転禁止	16歳以上は免許不要で運転可能	利用の際は、自賠責保険（共済）加入が必須	ナンバープレートの登録必須	ヘルメットの着用は努力義務	飲酒運転は禁止	車道か自転車道の走行が原則	最高速度設定を時速6km以下に切替えると歩道走行可能	車道でも、自転車道でも曲がるときはウィンカー必須	運転中の携帯電話等使用禁止	二人乗りの禁止	信号・標識の遵守	道端などへの放置禁止	その他	特定原付の新設を知らなかった
全体		1,000	21.1	27.7	15.1	36.0	24.2	40.4	30.9	17.0	14.2	25.3	31.0	30.6	14.2	0.3	28.3
性別	男性	490	24.7	32.0	19.4	41.2	28.2	42.0	34.7	22.7	15.3	26.5	32.2	33.1	14.1	0.4	26.5
	女性	510	17.6	23.5	11.0	31.0	20.4	38.8	27.3	11.6	13.1	24.1	29.8	28.2	14.3	0.2	30.0
年代	10代	20	15.0	15.0	5.0	40.0	35.0	35.0	20.0	15.0	15.0	15.0	35.0	20.0	10.0	0.0	30.0
	20代	160	24.4	23.1	13.8	35.6	22.5	30.6	24.4	14.4	13.8	18.8	25.6	21.3	11.3	0.0	29.4
	30代	170	24.7	25.9	15.9	28.8	21.2	33.5	31.8	14.1	13.5	22.4	26.5	22.4	11.2	0.0	30.6
	40代	200	16.0	20.5	13.5	30.0	18.5	36.5	28.5	12.5	11.0	21.0	28.5	24.0	14.5	0.5	32.0
	50代	190	19.5	31.1	13.2	37.9	26.3	44.7	30.0	18.9	14.7	25.3	30.5	33.2	15.3	0.0	29.5
	60代	130	17.7	34.6	15.4	40.8	26.9	44.6	32.3	21.5	16.2	28.5	34.6	40.8	14.6	0.8	26.9
	70代	130	26.9	36.9	22.3	46.9	31.5	57.7	43.1	23.8	17.7	42.3	43.8	50.8	20.0	0.8	17.7
地域	23区	690	21.0	28.1	15.7	36.5	24.5	41.6	31.6	17.5	14.9	24.9	31.4	31.9	15.1	0.3	27.1
	市町村	310	21.3	26.8	13.9	34.8	23.5	37.7	29.4	15.8	12.6	26.1	30.0	27.7	12.3	0.3	31.0

自転車利用者に対する調査

19. あなたが電動キックボード（特定原付）を利用するにあたってメリットだと思う主な理由を教えてください。利用していない場合は、利用したと仮定してお答えください。（複数回答）

(1)全体

電動キックボード（特定原付）を利用するにあたってメリットだと思うことは、「免許が不要なく、手軽に利用できる」（35.7%）、「好きなポートで借りて、好きなポートで降りることができる」（26.2%）、「排ガスがなく環境にやさしい」（22.7%）の順となっている。一方「特にメリットはない」も35.2%と3人に1人以上となっている。



自転車利用者に対する調査

(2) 属性別

電動キックボードを利用するにあたってのメリットとして最も高い「免許が不要なく、手軽に利用できる」を年代別に見ると、50代が39.5%、70代が39.2%、40代が39.0%となっている。10代と60代では「特にメリットはない」が最も高い。「好きなポートで借りて、好きなポートで降りることができる」については、23区が29.3%、市町村が19.4%と9.9ポイントの開きがある。

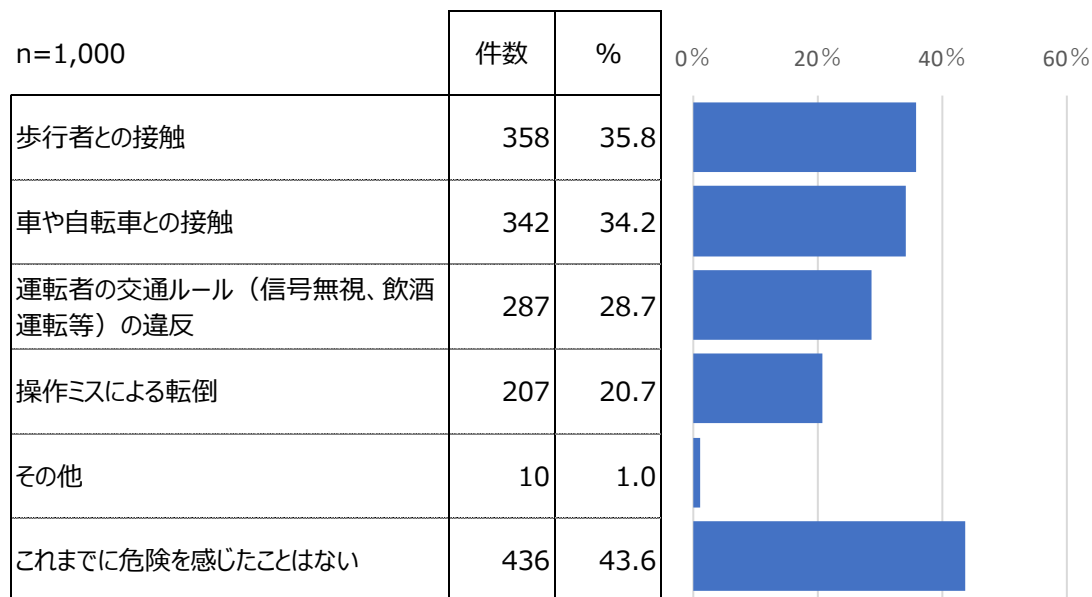
	n	免許が不要なく、手軽に利用できる	好きなポートで借りて、好きなポートで降りることができる	シェアリングサービスの場合、利用費用が安い	他の交通手段にくらべて早く目的地に到着できる	排ガスがなく環境にやさしい	車体がかっこいい、おしゃれ	坂道などを楽に移動できる	その他	特にメリットはない	
全体	1,000	35.7	26.2	17.1	19.9	22.7	5.2	17.6	0.0	35.2	
性別	男性	490	34.1	24.7	18.2	17.8	22.0	5.9	18.2	0.0	37.3
	女性	510	37.3	27.6	16.1	22.0	23.3	4.5	17.1	0.0	33.1
年代	10代	20	25.0	15.0	20.0	15.0	20.0	15.0	20.0	0.0	35.0
	20代	160	33.8	24.4	17.5	18.1	16.9	8.8	16.9	0.0	31.3
	30代	170	33.5	35.3	22.9	18.2	20.0	4.7	14.1	0.0	29.4
	40代	200	39.0	28.0	19.5	22.5	24.0	7.0	20.5	0.0	33.5
	50代	190	39.5	28.4	16.3	18.4	17.4	4.7	20.0	0.0	37.4
	60代	130	28.5	21.5	13.1	18.5	23.1	0.8	15.4	0.0	47.7
	70代	130	39.2	16.9	10.0	24.6	39.2	2.3	16.9	0.0	34.6
地域	23区	690	35.2	29.3	18.4	20.1	22.3	5.7	18.6	0.0	33.9
	市町村	310	36.8	19.4	14.2	19.4	23.5	4.2	15.5	0.0	38.1

自転車利用者に対する調査

20. これまでに、電動キックボードの利用について、危険を感じた経験があれば教えてください。（複数回答）

(1)全体

電動キックボードの利用について、危険を感じた経験は、「これまでに危険を感じたことはない」(43.6%)を除く56.4%で、「歩行者との接触」(35.8%)、「車や自転車との接触」(34.2%)、「運転者の交通ルール（信号無視、飲酒運転等）の違反」(28.7%)の順となっている。



● 「その他」の内容（10件）

- ・ スピードが速すぎて危ない（3件）
- ・ 歩道を走っているのを見た時危ないと思った（2件）
- ・ 強風のときに危ないと思ったことがある。せめて強風の時は使用禁止にすべきかと（1件）
- ・ 免許制でないからルールの何もわかってないやつが乗ってる（1件）
- ・ 利用している奴らがフリーダム過ぎる（1件）
- ・ 全面的に使用禁止にすべき（1件）
- ・ 見かけない（1件）

自転車利用者に対する調査

(2) 属性別

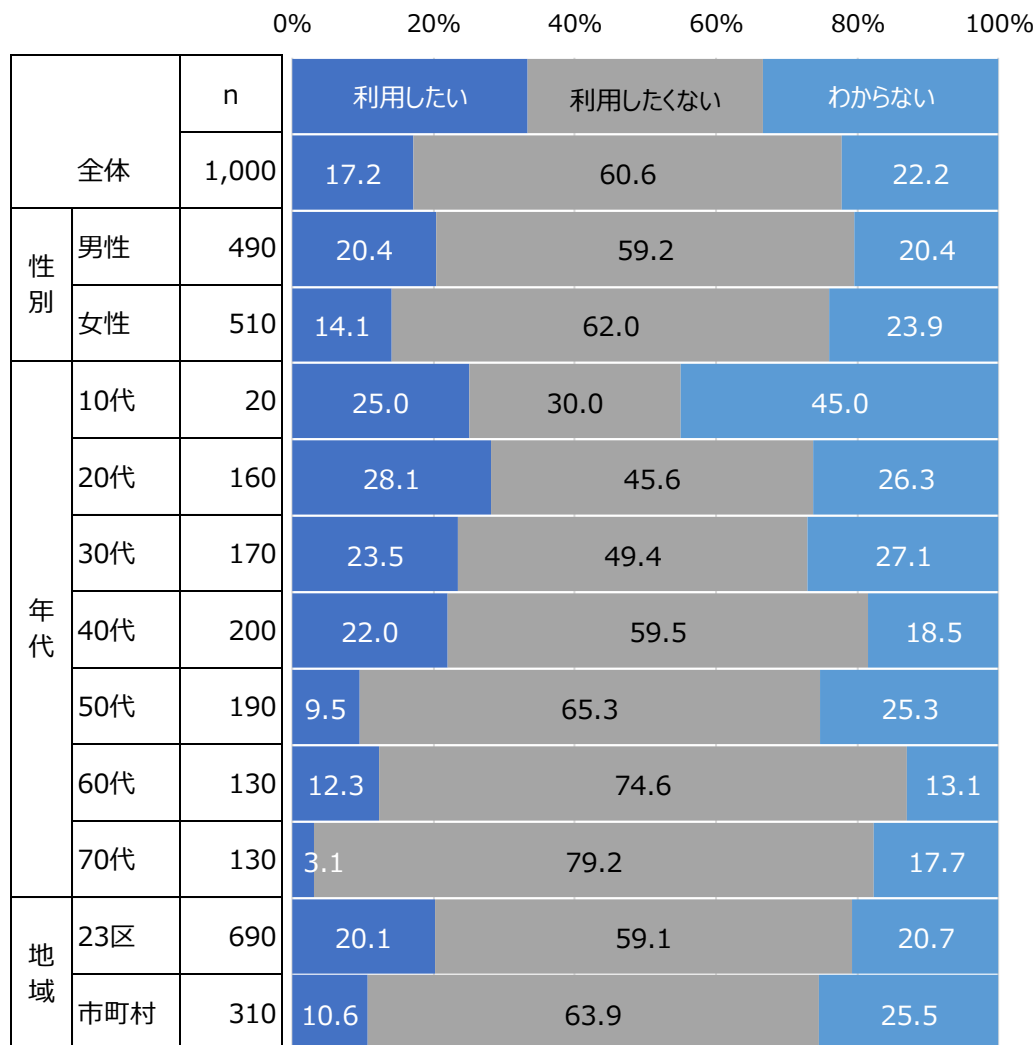
電動キックボード利用で危険を感じた経験が最も高い「歩行者との接触」を年代別に見ると、70代 43.1%、30代 37.1%、40代 37.0%の順となっている。2番目に高い「車や自転車との接触」については、40代 40.0%、30代 38.8%、70代 36.2%の順となっている。

		n	車や自転車との接触	歩行者との接触	操作ミスによる転倒	無視、飲酒運転等（信号の違反）	運転者の交通ルール（信号）	その他	とこれまでに危険を感じたこと
全体		1,000	34.2	35.8	20.7	28.7	1.0	43.6	
性別	男性	490	36.3	37.6	23.1	31.2	0.8	40.2	
	女性	510	32.2	34.1	18.4	26.3	1.2	46.9	
年代	10代	20	10.0	25.0	15.0	10.0	0.0	50.0	
	20代	160	28.1	29.4	22.5	21.9	0.6	41.3	
	30代	170	38.8	37.1	28.2	27.1	0.6	34.7	
	40代	200	40.0	37.0	20.0	33.5	1.0	42.5	
	50代	190	31.6	34.7	18.4	26.3	0.5	47.9	
	60代	130	32.3	36.2	16.2	30.0	1.5	50.8	
	70代	130	36.2	43.1	18.5	36.9	2.3	45.4	
地域	23区	690	35.9	37.8	21.0	31.0	1.3	39.6	
	市町村	310	30.3	31.3	20.0	23.5	0.3	52.6	

自転車利用者に対する調査

21. 電動キックボード（特定原付）を今後利用したいと思いますか。

電動キックボードを今後利用したいかについては、全体では「利用したくない」60.6%、「わからない」22.2%、「利用したい」17.2%となった。年代別に見ると、「利用したい」が高いのは、20代28.1%、10代25.0%、30代23.5%の順となっている。一方、「利用したくない」が高いのは、70代79.2%、60代74.6%、50代65.3%の順となっている。



自転車利用者に対する調査

22. 都内の自転車及び特定原付の安全で適正な利用について、ご意見がありましたらご自由に入力してください。

代表的なコメントを抜粋

●規制・取締りの強化について（114件）

性別	年代	居住地	内容
女性	60代	渋谷区	免許無しで使える車両に対して甘すぎる。なぜキックボードが免許なしでバイクや自動車の取り締まりは厳しいのかさっぱりわからない。自転車の二人乗りはダメで子供の座席はいいとか矛盾だらけ。業界からお金をもらってる、とか勘繰ってしまう。全て免許制にして罰則を厳しくすべき。
男性	70代	江東区	最近、電動自転車で速度が速いタイプが出てきており、歩道を歩行者がいても歩行者優先にもかかわらず、ものすごいスピードで通過していきます。電動自転車の速度制限（例えば、時速25km以上でないように設定）できないものか。
男性	60代	足立区	通学、通勤時の交差点での取り締まりを強化して欲しい。取り締まり後の、車両の扱いについて、即時一定期間使用禁止措置のルール化等が必要。

●自転車専用レーンなどのハード面整備について（76件）

性別	年代	居住地	内容
男性	30代	大田区	車道を走行というが、車道が車の幅で出来ているので、車道は危険。かといって歩道も歩行者がいるので危険。自転車専用道を作らないと事故が減る気がしないと思う。
男性	50代	千代田区	自転車は、歩行者よりも強い立場だが、自動車よりも弱い立場で、中途半端。歩道を走行するにも、車道を走行するに危険が多すぎて、自転車専用道路が欲しい。だけど、自転車専用部分に自動車が駐車していることも多く、危ない。歩行者も、交通ルールを守らず、我が物顔でいる人もいるので、歩行者からルールを認識させる必要がある。
女性	50代	多摩市	住んでいる地域が遊歩道で移動が出来る場所が多い為、路上の自転車専用の所を走るのがとても怖く感じます。場所によっては歩道とは別にしっかり自転車専用車線とガードレールついている車線の場所があったので、そういった車線が多いと良いと思います。歩行者や自動車の立場からもその方が安心だと思います。

自転車利用者に対する調査

●自転車利用者の乗り方やマナーについて（57件）

性別	年代	居住地	内容
女性	60代	豊島区	電気自転車が普及して、若いお母さん世代が歩道を、時折無理な走行をしている人を多く見かけます。歩道は人が優先という意識が低い、また、自分の自転車走行を過信しているように感じます。今、自動車の免許を持っていない人が増えて、自転車に乗っている人の中には、交通ルールをきちんと知らない人が多いような気がします。（車道を逆走する自転車がいたり、信号無視をしたり）自転車で車道を走るには、車の量も多く、停車している車やバスなど、車道の端を走るには困難な所が多すぎます。
男性	50代	荒川区	電動自転車の普及がいけないと思う。力のなくなった人でもアシストされて、坂道でも運転しながら登ってくるし、早い！なのに減速は遅いし、左右確認はしないし、一時停止もしない。なので体力や運転技術がない人は自転車を降りていた過去に戻った方がいい。
男性	50代	練馬区	自転車で危険な思いをするのは、殆どがチャイルドシートを搭載した電動自転車。すぐにスピードが出るし、後ろから高速ですり抜けて怖い思いを何度もしている。また、駐輪場でもスペースを取り、止める場所を探すのに難儀した事も多数ある。また、止めてた自転車が重たいチャイルドシート付きの電動自転車が無理やり止められて、足をぶつけたりなど、嫌な思いをした事も多数ある。子供がいる世帯には必須だとは思いますが、我が物顔で高速で歩道を走り、駐輪場ではスペースを取ってるのを見ると、本当に邪魔に感じる。本当はチャイルドシート付き電動自転車を何とかしてほしい。

●教育・指導・啓発について（36件）

性別	年代	居住地	内容
女性	60代	渋谷区	免許無しで使える車両に対して甘すぎる。なぜキックボードが免許なしでバイクや自動車の取り締まりは厳しいのかさっぱりわからない。自転車の二人乗りはダメで子供の座席はいいとか矛盾だらけ。業界からお金をもらってる、とか勘繰ってしまう。全て免許制にして罰則を厳しくすべき。
男性	70代	江東区	最近、電動自転車で速度が速いタイプが出てきており、歩道を歩行者がいても歩行者優先にもかかわらず、ものすごいスピードで通過していきます。電動自転車の速度制限（例えば、時速25km以上でないように設定）できないものか。
男性	60代	足立区	通学、通勤時の交差点での取り締まりを強化して欲しい。取り締まり後の、車両の扱いについて、即時一定期間使用禁止措置のルール化等が必要。取締り後もすぐ使用する者を防ぐ為。

●特定原付について（26件）

性別	年代	居住地	内容
女性	30代	板橋区	電動キックボードを免許無しにしたのは悪手だと思います。自転車くらい手軽に乗れるエコな乗り物としては良いですが、堂々と歩道走ってくる人を見かけるし、自分も1度だけ乗りましたが、道路状況によって自転車よりはるかにバランス崩しやすいので、生身で公道走る乗り物じゃないと思いました。公園とかの敷地内なら楽しそうです。
男性	50代	日野市	キックボード利用者の交通ルール違反はとても多く、歩行者時に頻繁に怖い思いをする。免許不要とのことでキックボード利用者が交通ルールを学ぶ機会が少なく、安易に違反を繰り返している。是非取り締まりの強化と厳罰化を望む。
男性	40代	江戸川区	電動キックボードの厳罰化と違反内容の周知徹底。ニュース番組や購入の際に説明をしなければならぬルールを設定するなど。